

9. ワークショップの評価

1) モデレーターによる評価

本プロジェクトのPCMワークショップは、厳しい時間的な制約の中で活発に議論が交わされた。結果的に、本事前調査の主目的である「モロッコ政府の高等海事学院（ISEM）へのプロジェクト方式技術協力の要請の妥当性の確認」に大きく寄与したと評価する。以下にワークショップについての良かった点と反省点を記す。

a. 良かった点

- (1) 参加者の積極的な参加姿勢：本ワークショップには、全体で20名以上の参加者があった。全体として活発な議論が続き、特にモロッコ側の参加者は終始積極的に意見を述べた。こうした積極的な参加姿勢は各分析の質を高め、受益者の真のニーズがプロジェクト内容に反映されることにつながった。
- (2) 言葉のハンディの克服：公用語・使用言語の違いにより、日本とモロッコの双方が共通の言語でコミュニケーションすることが難しかったため、通訳者を介して日本語とフランス語の併用でワークショップを実践した。討議の通訳・カードの翻訳のために時間が余計にかかるというデメリットはあったものの、特にコミュニケーションの不足は感じられなかった。結果的には、英語のみでのワークショップの開催により、参加者の発言や理解に制約を与えるよりも良かったと思われる。
- (3) 時間の制約への対処：ワークショップに当てられた時間が1日間（正味6時間）という時間的な制約の下で、PDMの根幹部分まで議論を行うことができた。これは、以下のような要因による。
 - できる限りの事前準備：英文のPCMマニュアル（注）の出席予定者への事前配布、日本側での国内ミニ・ワークショップの開催、通訳者へのPCM手法の事前説明。
 - 重点的な時間配分：問題分析に最重点を置き、参加者分析や目的は分析は大幅に割愛した。
 - 現地JICAスタッフの協力：モロッコ事務所職員及び長期専門家の協力で、日仏語間のカードの翻訳作業が大幅にはかどった。

（注）タイトルは、PROJECT CYCLE MANAGEMENT—MANAGEMENT TOOL FOR DEVELOPMENT ASSISTANCE, Foundation for Advanced Studies on International Development

- (4) ワークショップの波及効果：最終にワークショップを行ったことの波及効果が挙げられる。すなわち、PCM手法を用いたワークショップを行った後、受益者たるISEMの教官らの間に、自分たちの教育について改めて見直し、議論する風潮が高まったとの報告がISEM

側からあったことである。また、自らの意見がプロジェクト作りに反映されたという実感を持ったことにより、今後プロジェクトが実施される場合には、受益者たる ISEM の教官らの高いモラルが期待される。

b. 反省点

- (1) 時間的制約：上記のように一定の成果はあげたものの、分析のいずれの段階でももう少し時間がほしかったと感じられる。以下に、あるべき時間を分析の段階別にみると、

	(実績)		(あるべき姿)
参加者分析	15分	→	30分
問題分析	3時間55分	→	5時間
目的分析/代替分析	0分	→	2時間
PDM作成	40分	→	6時間
	4時間50分	→	13時間30分 (8時間40分差)

となる。また、PCM手法そのものの説明も、40分程度しか行われなかったが、これも2時間はかけたいところである。

- (2) 多すぎた参加者：参加者については、当初は日本側5名+モロッコ側9名(注)の計14名とすることで双方合意していたが、実際にはモロッコ側の出席者だけで20名近くあった。この理由としては、開催場所が当初予定の首都ラバト市にある漁業・海運省本省からカサブランカ市にあるISEMに変更されたこともあり、予定されていなかったISEMの教官が当日になって多数出席したものと想像される。出席者が増えることについてはモロッコ側から日本側に対し事前に何らの相談・説明もなかった。また、当日、多数の教官がワークショップ会場に集まってきた際も、漁業・海運省等関係者は特に教官たちの出席を妨げなかった。参加者が多くなりすぎると、1人1人に意見を聞いたりカードを書かせる機会が減り、一部の積極的な発言者に意見が偏りがちである。しかし、今回の場合、極端な発言の独占はなかった。立場の異なる参加者から幅広く意見を聞くという趣旨に立ち、全体の出席者は当初予定した15名程度に抑えるべきであった。もし出席者数が、20名を越えるような場合は、①グループ代表別にはっきりと席を分け、②同一グループの中で発言者/発表者を決めておくなどの対応が必要である。

(注) モロッコ側出席予定者は以下のとおり。

1. Rafiki 海洋教育部長
2. Moudden 課長
3. Loukili 校長
4. Baudot 調査部長
5. Naguib 甲板部長
6. Boudlal 機関部長
7. その他海運局代表1名、船会社代表2名

(3) 事務用品の不備：今回、ワークショップの開催にあたり、ベニヤ板や模造紙を貼り、その上にカードを画鋏で止めるという方式をとった。（事務用品は、現地で調達）実際には画鋏がベニヤ板にうまく刺さらず、カードが落ちたり画鋏の頭がとれたりしたため、カードをセロテープで固定することにした。これもセロテープの粘着性の強さのため、ボード上のカードの移動が難しかった。今後は、事前に事務用品がうまく使えるかどうかの試験を行うべきである。基本的には、以下のような組み合わせで事務用品を揃えるべきと考える。

- | | | |
|-------------------|-----------------------|-------------------|
| A+ベニヤ板
+ポストイット | B+段ボール
+画鋏
+カード | C+段ボール
+ポストイット |
|-------------------|-----------------------|-------------------|

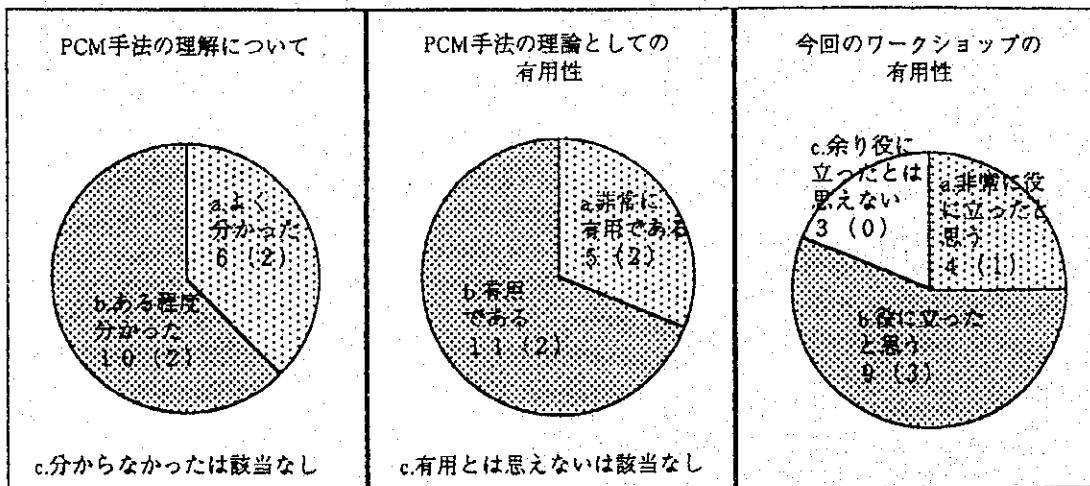
（選択の余地があれば、できればBは避けるべき）

2) ワークショップに関するアンケート結果の分析

本事前調査では、ワークショップ実施に際し、アンケートも試みた。（アンケート用紙はP.62に添付）これについては、日本側4名（調査団のうちJICA職員、コンサルタントを除く）とモロッコ側12名（ワークショップ参加者の約半数）の計16名から回答があった。

アンケート選択問題の回答結果

（回答者数は16名。数字は合計値。但し（ ）内は日本側のみの数字。）



アンケート結果を要約すると、回答者はPCM手法は理論として有用であり、かつ、実際にワークショップが役に立ったと感じていると言える。

アンケートは、PCMワークショップの理論面と実践面の2つの角度の設問からなっている。理論面では、PCM手法そのものの理解度を確認し、その理論としての有用性を問うた。これらの設問への回答には日本側とモロッコ側にあまり差はなく、全員が「よく」もしくは「ある程度」分かったと答え、またPCM手法は、「有用である」（うち3名は「非常に」）と答えている。有用性の根拠としては、関連する問題が全て抽出されること、問題を分解することにより状況がよく分析されること、また、コンセンサスが形成されることが挙げられ、まさしくPCMの狙いとする所が確認された形になっている。

次に、実践面をみると、16名のうち日本側とモロッコ側の計13名が「役に立った」とみている。理由としては、ISEMの現状をよく確認できたということであり、これが色々な表現で述べられている。（プロジェクトのフレーム作りに役立ったとの意見がないのは、PDMがワークショップ後の協議の場で議論されたことから、回答者の多くがPDMの完成まで見届けることができず、PCM手法により実際にプロジェクトのフレーム作りが行われたことを確認できなかったためであろう。）また、モロッコ側の3名がワークショップはあまり役に立たなかったと回答しているが、これは手法そのものの不備というより、時間不足のためと考えられる。

今後PCM手法を用いる時の課題としては、i)十分に議論の時間をとること、ii)参加者の範囲をよく検討することなどを中心として種々の細かい提案がなされている。

PCMに関するアンケート

今回の予備調査において、PCMという手法に基づく参加型ワークショップを開催しましたが、今後の参考のために、以下の設問にお答え下さい。

1. PCM手法の理論について

(1) PCM手法の理解については、如何がでしたか？（1つお選び下さい。）

- a. よくわかった。
- b. ある程度わかった。
- c. よくわからなかった。

(2) (上で、c. と答えた方へ) その理由は何ですか？ 具体的にお書き下さい。

(3) PCM手法の有用性については、どうお考えですか？（1つお選びください。）

- a. 非常に有用である。
- b. 有用である。
- c. あまり有用とは考えない。

(4) (3)の回答に対し、(いずれの場合でも) その理由について、具体的にお書き下さい。

2. PCM手法の実践について

(1) PCM手法の利用(ワークショップの開催など)は、今回の調査の目的である本プロジェクトの妥当性・内容の検証に役立ったと思いますか？（1つお選び下さい。）

- a. 非常に役に立ったと思う。
- b. 役に立ったと思う。
- c. あまり役に立ったと思えない。

(2) (1)の回答に対し、(いずれの場合でも) その理由について、具体的にお書き下さい。

(3) 今後、同種の予備調査にPCM手法を利用する場合に、留意すべき点あるいは改良すべき点がありましたら、お書き下さい。(何点も可)

(4) 今後、本プロジェクトの実施・モニタリング・評価にPCM手法を適用する場合に留意すべき点あるいは改良すべき点がありましたら、お書き下さい。(何点でも可)

附属資料

① 日本側質問状（1994年11月4日付け発信）	65
②-1 モロッコ側回答書・原文（1994年12月12日受領）	69
②-2 モロッコ側回答書・日本語仮訳	90
③-1 日本側再質問状・日本語版（1995年1月17日付け発信）	110
③-2 日本側再質問状・仏語版（1995年1月17日付け発信）	111
④-1 モロッコ側回答書・原文（1995年1月27日受領）	113
④-2 モロッコ側回答書・日本語仮訳	119
⑤ 学院創設以来の卒業生数	123
⑥ 学院の日課表	124
⑦ 練習船「アル・モヒット」主要目	125
⑧ 海運局組織改編 提案文書（原文及び和訳）	126
⑨ 輸送分野の雇用人員数（原文及び和訳）	132
⑩ 国内輸送の部門別割合 1992年（原文及び和訳）	134
⑪ 最近5年間に購入した港湾雑役船と商船の状況 1989年～1994年	136
⑫ 主要港湾資料（Main Ports of the Kingdom）	139
⑬ Tanger港概要	147
⑭ Kenitra-Mehdia港概要	150
⑮ Mohammedia港概要	152
⑯ Casa Blanca 港概要	155
⑰ El Jadida 港概要	158
⑱ Safi港概要	160
⑲ Jorf Lasfar 港概要	163
⑳ Agadir港概要	166

1. Position of the project in the national development plan.

- (1) Please explain the national policy and the future plans on marine transportation and manpower (seamen).
[including the relevant statement in the 6th National Development Plan]
- (2) Please provide information on various economic and industrial indicators and the shares occupied by marine transportation and seamen. (Provide data of the last 5 years.)
- (3) Please provide information on labor situation (such as working population by field, unemployment rate, and average salary by occupation). (Provide data of the last 5 years.)
- (4) Please explain what effects (such as expected benefits, employment promotion effects, self-help effects, and secondary effects) are expected by implementing the project.

2. Current status of Morocco's marine transport.

Please provide information on the following items :

- (1) Ocean-going ships of Moroccan registry.
(vessel types, number of vessels, gross tonnage).
(Provide data of the last 5 years).
- (2) Total volume of international trading, volume of international trading by marine transportation, loading percentage of ships of Moroccan registry (Provide data of the last 5 years).
- (3) Information on ships other than ocean-going ships.
(such as coastwise vessels, fishing boats, and work barges).
(Provide data of the last 5 years).
- (4) Information on major ports and their facilities.
(such as mooring capacity and support facilities).
- (5) Organization in charge of marine transport administration
(such as an organization chart of the competent authorities, division of roles, brief description of services and operation)

3. Current status of Moroccan Seamen.

Please provide information on the following items :

- (1) Overview of seaman registration system
(such as competent authorities, contents of registration, and registration procedure)
- (2) Number of registered seamen
(number of seamen by occupation, by qualification, etc.)
(Provide data of the last 5 years.)
- (3) Number of seamen aboard ships of Moroccan registry and the percentage of Moroccan seamen (by occupation)

- (4) Overview of seamen's competence qualification system
(types of seamen's competence qualifications, applicable ships and sea areas by qualification)
- (5) Are foreign seamen's competence qualifications acknowledged in Morocco? (Explain the relationship between foreign and Moroccan seamen's competence qualifications.
([For reference information, foreign seamen's competence qualifications are not acknowledged in Japan.])
- (6) Overview of seaman's competence qualification examination system
(organization in charge of examinations, subjects and methods of examinations [(For reference information, written, oral, and health examinations are given in Japan.)]
- (7) Qualifications for taking seamen's competence examinations, number of applicants, and number of successful applicants
(Provide data of the last 5 years.)
- (8) Details of Seamen policy and its future plan (if any)
(Needs and policy for the increase of the number of seamen including officers)

4. General educational system and seamen education in Morocco.

Please provide information on the following items :

- (1) General educational system in Morocco
(compulsory, secondary and higher education, school age, period of education, number of students etc.)
- (2) Overview of seaman education/ organizations other than Institut Supérieur des Etudes Maritimes.
(Provide information on both public and private organizations such as the name, the number of students, period, level of education, and entrance qualifications.)
- (3) Relationship between Morocco's seaman education/ policy and STCW Treaty
(Does Morocco have a Policy to make embark more moroccan seamens on foreign vessels ?)

5. Current status of Morocco Advanced Marine Training Institute.

Please provide information on the following items :

- (1) History of I.S.E.M.
- (2) Organization and personnel of I.S.E.M, its relationship with the Ministry of Fishery and Marine Transport.
- (3) budgets for I.S.E.M
(Provide data of the last 5 years)
- (4) Facilities and equipment of I.S.E.M.
(including infrastructure facilities such as building layout and dormitory).

- (5) Major educational training equipment and machinery and their operating state.
 - (6) Currently available training courses, description of training (overview of curriculum), number of intake, entrance qualifications, training period, student selection procedures (by course)
 - (7) Number of applicants, number of students who enter the Institute, number of graduates, and employments. (Provide data of the last 5 years.).
 - (8) Current number of students (by course, by year).
 - (9) Relationship between training level (at the time of graduation) and seamen's competency qualifications, the number of seamen who successfully acquired competency qualifications at the time of graduation. (Provide data of the last 5 years.).
 - (10) Overview of organizations and ships that accept training aboard.
 - (11) Number of accepting foreign students accepted.
 - (12) Expenses for students (tuition, dormitory fees, food expenses, living expenses, other miscellaneous expenses)
 - (13) Does I.S.E.M have a scholarship system? If any, please explain the system briefly.
 - (14) Information on instructors, such as the number of instructors, their academic background, professional career, seamen's competency qualifications, experience of working aboard, and salary.
 - (15) Assistance received in the past and assistance being received at present from multinational organizations and bilateral aid agencies.
 - (16) Relationship between ISPM Marine Science Research Institute and I.S.E.M.
6. Targets and plan of the project.

Please provide information on the following items :

- (1) Targets of the project.
(conceptual objective, scale of training, brief description of training level, target year, etc.).
- (2) Competent authorities of the project, the section in charge of the project, the organization that implements the project.
- (3) Do you have any training course improvement plan.
(improvement of current courses, opening of new courses).
Explain such plans (number of students, period, training level, entrance qualifications, language used for training, etc.) briefly, if any.

- (4) Do you have any training facility extension or remodeling plan ?
If any, explain it briefly.
- (5) Do you have any plan for improving the organization or increasing
instructors? If any, please explain its outlook.
- (6) Please explain your instructor development plan.
(employment plan, procedures of inviting applications, salary,
instructor education plan).
- (7) Explain the financial plan for the project, estimated
recurring expenses and the outlook of securing budgets for them.
- (8) Number of experts expected from Japan, their requirements and
the period of their stay in Morocco.
- (9) Number and description of trainees expected to receive training
in Japan.
- (10) Plan for improving educational equipment and machinery.
(teaching training equipment and materials expected from Japan
and those to be supplied by Morocco).
- (11) Plan for establishing an equipment and machinery maintenance
system.
(personnel and budgetary preparations)
- (12) Plan to accept foreign students.

1/ SITUATION DU PROJET DANS LE PLAN DU DEVELOPPEMENT NATIONAL

1/ La politique nationale dans le domaine des transports maritimes vise le développement progressif de la flotte marocaine en vue d'une couverture de plus en plus croissante des échanges extérieures du pays.

2/ La flotte marchande marocaine :

	1989	1990	1991	1992	1993
Flotte * (Nombre)	65	63	60	58	52
Tonnage transporté	6.196.263	4.673.431	6.645.661	8.261.481	5.761.481
Marins ** employés	3601	3752	3875	3936	3315

(*y compris la flotte affrété :

(**)concerne uniquement les marins et les Officiers marocains;
pour plus de détail (voir § 3.(2))

3/ Salaire du personnel officiers et du personnel d'exécution.
(voir annexes 3,4,5)

4/ Les résultats obtenus dans le domaine du développement du travail maritime et de transport maritime sont :

- création de nouveaux emplois pour les marocains
- rendre la flotte marocaine plus compétitive sur la scène internationale.
- économiser des devises pour le pays.

2/ LE STATUT ACTUEL DU TRANSPORT MARITIME AU MAROC

1/ - Années 1991/1992

Année 1992

TYPE DE NAVIRE	UNITE	T.P.L
CAR-Ferry	05	9.084
Rouliers	06	32.379
General Cargo	08	23.412
Porte conteneurs	07	22.318
FRIGO	12	45.635
Chimiquier	11	190.959
Vraquier	05	166.350
Ptrolliers	03	16.072
Miste	02	4.960
Total	60	511.769

Année 1992

TYPE DE NAVIRE	UNITE	T.P.L
Rouliers	8	41.029
Porte conteneurs	7	18.961
General cargo	7	25.677
Car Ferry	12	4.313
Chimiquiers	11	187.999
Frigo	12	47.330
Vraquiers	04	163.640
Pétroliers	04	22.738
Mixtes	01	3.180
Total	58	494.867

2/ Les échanges effectués par le Transport Maritime constituant un support essentiel d'intérêt économique pour le pays, constat illustré réellement dans la mesure où 98% des tonnages extérieurs marocains sont transportés par mer.

./.

	Importations	Exportations
1991	16.284.940 T (*)	16.958.159 T (*)
1992	19.698.106 T (*)	16.449.569 T (*)

(*)Concernant le volume global du commerce marocain

3/ A part la flotte de commerce, il existe des navires tels que : les caboteurs, les navires de pêche, les vedettes de sauvetages, les navires de servitude .

4/ Les principaux ports marocains de commerce sont : Nador, Tanger, Kenitra-Méhdia, Mohammedia, Casablanca, El Jadida-Jorf, Safi, Agadir, Tan-Tan, EL Aïyoun, Dakhla. Ces ports sont équipés et leurs installations et équipements relèvent de l'Office d'Exploitation des Ports (ODEP).

5/ L'Administration chargée du Transport Maritime est la Division du Transport Maritime située au sein de la Direction de la Marine Marchande qui relève du Ministère des Pêches Maritimes et de la Marine Marchande.

La Division du Transport Maritime regroupe :

- Service des frets et affretements
- Service d'organisation et de coordination des transports maritimes.
- Service des activités annexes
- Service des études des investissements

3/ STATUT ACTUEL DU MARIN MAROCAIN

1/ Tous les Officiers et Marins lauréats des Instituts et Centres de Formations Maritimes reçoivent un livret maritime (Délivrance sans aucun paiement).
L'autorité compétente est la Direction de la Marine Marchande.

2/ et 3/ (voir annexes 6,7,8)

4/ Les prérogatives sont fixés par décret et un arrêté fixe les conditions de dérogation.

5/ Des dérogations peuvent être accordées, en cas de besoin aux marins étrangers titulaire d'un brevet reconnu.

6/ Les membres du personnel navigant possèdent des diplômes et brevets, délivrés par le Ministère des Pêches Maritimes et de la Marine Marchande, après leur réussite aux examens correspondant. Ces examens se déroulent dans les différents centres de formation maritime ; ils se composent d'épreuves écrites, orales et pratiques. Chaque Etablissement à la charge de la préparation des sujets et de la notation des épreuves.

7/ Le pourcentage des élèves ayant échoué aux examens de sortie des écoles maritimes est faible, du fait même que l'accès à ces écoles a lieu par voie de concours ce qui permet d'effectuer au départ une sélection.

8/ Le Ministère des Pêches Maritimes et de la Marine Marchande oeuvre pour dynamiser la politique du transport maritime et de l'embarquement des marins.

4/ SYSTEME DE FORMATION GENERAL ET MARITIME AU MAROC

1/ La durée des études secondaires est de 7 années sanctionnées par le baccalauréat, qui permet l'accès aux universités on donne droit à présenter les concours des Ecoles Supérieures. L'année scolaire ou universitaire est comprise entre Septembre et la fin Juin.

2/ Le Ministère des Pêches Maritimes et de la Marine Marchande est en charge également de la gestion et du développement de la formation de la pêche hauturière et côtière. A cet égard, il dispose de 2 Instituts de Technologie des Pêches Maritimes (à Agadir et Tan-Tan) et de 4 Centres de Qualification Professionnelle. Le nombre d'élèves en formation dans ces établissements tous niveaux et sections confondus est de 634. Le recrutement s'effectue par voie de concours.

3/ Certains marins marocains naviguent sous des pavillons étrangers et des démarches sont en cours pour renforcer cette action.

5/ SITUATION ACTUELLE DE L'ISEM

1/ La formation professionnelle maritime a débuté au Maroc en 1934, puis a connu un développement rapide, grâce à la création en 1957, de l'Ecole Nationale des Officiers de la Marine Marchande (E.N.O.M.M).

L'ISEM, qui a pris le relais en 1978 a été construit dans le cadre du plan quinquennal 1973/1978, en vue de satisfaire les besoins croissants du secteur des Pêches Maritimes et de la Marine Marchande.

2/ L'Institut Supérieur d'Etudes Maritimes constitue un service géré de manière autonome relevant du Ministère des Pêches Maritimes et de la Marine Marchande.

3/

ANNÉE	Budget de fonctionnement de l'ISEM	Budget d'investissement de l'ISEM
1990	4 595 007 Dh	
1991	5 367 377 Dh	
1992	5 482 723 Dh	1 300 000 Dh
1993	7 445 260 Dh	9 500 000 Dh
1994	8 346 500 Dh	13 326 134,20 Dh

4/ Locaux administratifs, logements d'une partie du personnel, foyer pour les étudiants, infirmerie, piscine, terrains de sport, salle de musculation, mosquée, cuisine, salles de restaurant, chambres pour les étudiants (capacité de l'internat de 300 lits), parc automobile, salle de conférences, salle de réunion, bibliothèque, salle de reprographie.

./.

5/ - 18 classes,

- 15 ateliers et laboratoires :

- . 1 atelier de soudure
- . 1 atelier de tour et d'usinage
- . 1 laboratoire d'électrotechnique
- . 1 laboratoire de langues
- . 1 laboratoire d'analyses des eaux et combustibles
- . 1 salle de sécurité
- . 1 salle d'électronique
- . 1 salle d'automatique
- . 1 salle de navigation
- . 1 salle du simulateur-radar
- . 1 salle des moteurs
- . 1 salle de froid
- . 1 salle de signaux
- . 1 salle de matelotage
- . 1 salle d'informatique

toutes les installations sont opérationnelles

L'Institut dispose également d'un navire-école "AL MOHITT" de 220 TJB (acquis en 1969 et équipé d'un moteur de 800 cv) et de deux embarcations de 8 et 4 mètres.

6/ L'Institut Supérieur d'Etudes Maritimes dispense un enseignement supérieur et moyen pour la formation des cadres nécessaires aux différentes branches de l'activité maritime, l'enseignement dispensé couvre les techniques relatives à l'administration des affaires maritimes, à la navigation maritime et à l'économie des pêches et des transports maritimes. Cet enseignement comporte un tronc commun de formation générale, des cours théoriques de spécialité et une formation technique spécialisée sous forme de conférences, travaux pratiques et stages. Il prévoit également des stages de formation à bord des navires. Les matières enseignées à l'ISEM sont mentionnées à l'annexe 1. Ces dernières années, le nombre d'étudiants annuellement inscrit à l'ISEM était d'environ 200. L'accès s'effectue par voie de concours ouvert aux bacheliers des séries mathématiques ou scientifiques (pour la branche "Pont") et techniques (pour la branche "Machine").

Durée de formation

Diplômes de Capitaine de 2ème classe) 2 années de formation théo-
 et) rique à l'ISEM + 24 mois de
 d'Officier Mécanicien de 2ème classe) formation pratique à bord des
) navires + 1 année à l'ISEM.

Diplômes de Capitaine au Long-cours) 3 années de formation théo-
 et) rique à l'ISEM + 24 mois de
 d'Officier Mécanicien de 1ère classe) formation pratique à bord
) des navires + 1 année de
) formation théorique à l'ISEM

NB/. Pour plus de détail (voir annexe 2).

7/ Une quarantaine de places sont offertes chaque année pour environ 2000 demandes de participation au concours.

Nombre de diplômés de l'ISEM sur les cinq dernières années :

ANNEE SECTIONS	1990	1991	1992	1993	1994
C.L.C	-	23	-	27	14
O.M.I	14	-	19	-	26
L.L.C	15	20	19	19	16
L.M.C	10	18	15	14	13
C.II	09	-	18	-	12
O.R	-	-	-	-	14
L.II	26	24	22	28	29
O.M.II	01	16	-	11	-
L.M.II	18	23	25	33	26
L.R	11	-	-	-	-

NB/ - C.L.C : Capitaine au Long-cours
 - O.M.I : Officier Mécanicien de 1ère classe de la Marine Marchande
 - L.L.C : Lieutenant au Long-cours
 - C.II : Capitaine de 2ème classe de la Marine Marchande
 - O.R : Officier Radioelectronicien de la Marine Marchande
 - L.II : Lieutenant de 2ème classe de la Marine Marchande
 - O.M.II : Officier Mécanicien de 2ème classe de la Marine Marchande
 - L.M.II : Lieutenant Mécanicien de 2ème classe de la Marine Marchande
 - L.R : Lieutenant Radioelectronicien de la Marine Marchande.
 - L.M.C : Lieutenant Mécanicien de 1ère classe de la Marine Marchande

8/ Le nombre d'étudiants inscrit est 182 au titre de l'année universitaire 1994-1995 réparti comme suit :

SECTIONS	PONT	MACHINE
1 ^{ère} Année	23	20
2 ^{ème} Année	20	11
3 ^{ème} Année	24	32
(Année d'Application)		
C.L.C	37	
O.R	07	
O.M.II		08

9/ Le Diplôme remis par l'ISEM doit être échangé contre un brevet délivré par le Ministère des Pêches Maritimes et de la Marine Marchande, une fois que le lauréat réunit les conditions de navigation exigées.

Seuls les lauréats des sections d'"application" (C.L.C, O.M.I, C.II, O.M.II), étaient déjà en possession d'un brevet de Lieutenant lors de leur inscription à ces cours (condition exigée pour suivre un cours d'"application")

N.B/.- se reporter au tableau du point 7, pour les sections "d'application".

10/ Tous les navires des Armements marocains sont tenus d'embarquer les lauréats pour leur formation pratique.

11/ Environ 10% del'effectif global.

12/ La formation et l'internat sont gratuits pour les élèves marocains. Les élèves étrangers ainsi que les élèves des sections d'"application" participent aux frais d'internat.

13/ Les élèves marocains bénéficient d'une bourse d'études accordée par l'Etat. (certains élèves peuvent également percevoir une bourse des Armements).
Les élèves étrangers bénéficient d'une bourse attribué par le Ministère Marocain chargé de la coopération, ou sont pris en charge par un organisme extérieur.

14/ Nombre d'enseignants : 43

A.- Attachés à l'ISEM

- C.L.C. = 7
- O.M.I = 7
- Ingénieurs d'Etat = 4
- Maîtres Assistants = 3
- Ingénieurs d'application = 2
- Assistants = 2

B.- VACATAIRES : 13

- C.L.C. = 04
- Ingénieurs d'Application = 01
- Administrateur = 01
- Médecin = 01
- Autres = 06

C.- Détachés : 04

- O.M.I = 01
- O.R. = 02
- O.M.3 = 01

D.- Corps de la paix : 01

Les salaires des enseignants sont ceux attribués par la Fonction Publique, pour l'enseignement supérieur. Différentes indemnités peuvent également venir s'ajouter.

15/ Un programme de coopération technique avec la France a existé et pris fin en 1989.

16/ Dans le cadre de conférences organisées à l'ISEM.

6. BUTS ET PLAN DU PROJET

1/ Amélioration de la qualité de la formation régulière, en conformité avec la conférence de 1978 sur la formation des gens de mer et la délivrance des brevets. Organisation de stages de formation et de recyclage au profit des Officiers anciennement formés et des ressortissants des pays voisins. Recyclage des enseignants et préparation de ces derniers à former des homologues.

2/ Ministère des Pêches Maritimes et de la Marine Marchande.

- Direction des relations Internationales de la Formation et des Affaires Juridiques.
- Division de la Formation
- Direction de l'ISEM.

3/ Les programmes des cours sont revus régulièrement et du matériel didactique acquis en vue de rendre plus performante la qualité de la formation. Des cours de recyclage ou stages peuvent être organisés à la demande du secteur maritime au profit des cadres navigants.

Les manifestations pédagogiques sont animées en langue française.

4/ L'ISEM s'étend sur près de 6 hectares, ce qui peut permettre aisément en cas de besoin, d'étendre les installations; d'autre part certaines salles peuvent être aménagées.

5/ Le nombre d'enseignants reste fonction de l'activité de l'Institut et des postes budgétaires sont mis à disposition pour recrutement d'enseignants lorsque la nécessité s'en fait sentir.

6/ Les enseignants sont recrutés parmi les postulants ayant déposé une demande d'emploi ou par voie de presse et après entretien ou concours selon le cas. Les salaires sont ceux de la Fonction Publique qui prend en compte le diplôme et l'ancienneté, auxquels viennent s'ajouter certaines indemnités au niveau du Ministère de tutelle et de l'Institut.

./.

Les enseignants en provenance du secteur maritime ont pratiquement tous suivi un stage de formateur à l'étranger et quelques uns d'entre eux sont envoyés chaque année suivre des stages de courte durée.

Cependant les stages font défaut dans certains secteurs spécifiques spécialisés tels que :

- l'exploitation des systèmes de navigation
- " " " " de propulsion, de distribution d'énergie et des auxiliaires
- " " " " du matériel de sécurité.
- " " " " de communications.

7/ L'ISEM dispose d'un budget de fonctionnement, peut assurer les frais d'entretien et de maintenance des équipements pédagogiques actuels, les frais relatifs au matériel consommable, les frais d'entretien des locaux d'hébergement.

8/ 1) Expert pour l'étude de faisabilité du projet et détermination des spécificités techniques du matériel.

2) Chef de projet expert en formation

3) Coordinateur / traducteur

4) Expert en simulation RADAR et Visuel

5) Expert en simulateur Machine.

Pour le temps nécessaire à l'installation et à la formation du personnel.

9/ Pratiquement tous les élèves de l'ISEM seraient touchés par cette formation, notamment en simulation et des stages de recyclage pourraient être organisés au profit du personnel navigant en fonction.

10/ Les équipements d'appui seraient constitués :

- d'un simulateur machine
- d'un système visuel complétant le simulateur RADAR

./.

La partie marocaine pourrait assurer :

A) un apport administratif et humain (locaux administratifs, locaux pédagogiques, personnel d'appui, divers services)

B) un appui financier :

(budget de fonctionnement, comme mentionné au point (7) et budget d'investissement).

11/ La formation du personnel d'entretien entre dans le cadre de la formation de formateurs.

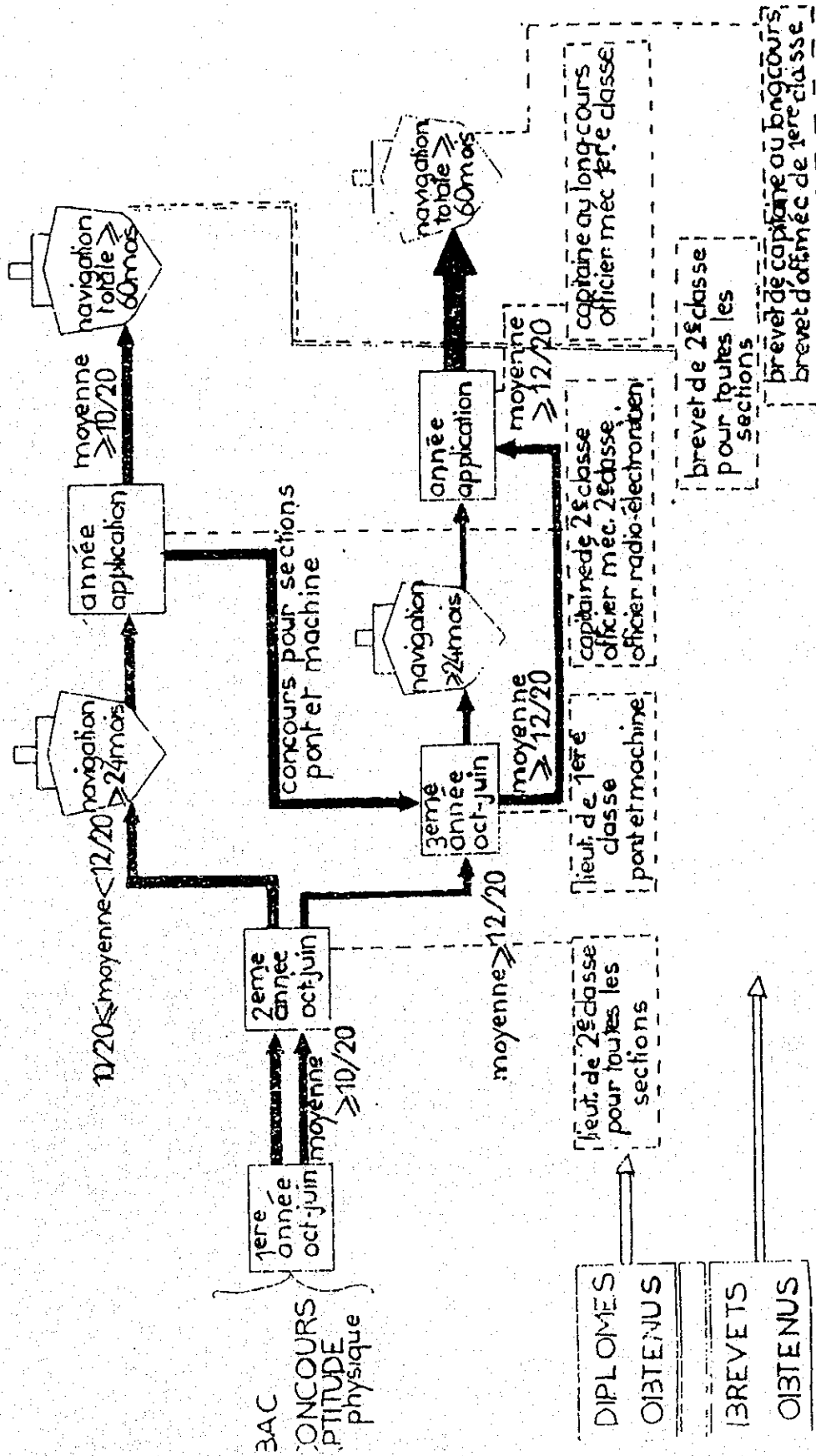
Un chef d'ateliers assure le suivi et la maintenance des ateliers et laboratoires en collaboration avec les enseignants responsables de ces installations et est assisté par un personnel subalterne.

12/ Les étudiants étrangers présentés par leurs gouvernements et agréés par le gouvernement marocain peuvent être admis à l'Institut.

LES MATIERES ENSEIGNEES A L'ISEM

BRANCHE PONT	BRANCHE MACHINE
- Cosmographie	- Moteurs
- Navigation	- Vapeur
- Calculs nautiques	- Auxiliaires
- Cartes	- Thermodynamique
- Sécurité	- Mathématiques/Méca/R.D.M.
- Technologie/Construction	- Informatique
- Manoeuvre - Propulsion	- Conduite-Entretien-Réparation
- Théorie du navire	- Compléments machine
- Rapport	- Automatique
- Exploitation-Spécification	- Electronique
- Droit	- Electricité-Electrotechnique
- Règles de Barre de Route	- Rapport
- Commerce Maritime	- Droit
- Economie des transports	- Anglais Général
- Météo - Océanographie	- Anglais Technique
- Electricité	- Arabe
- Electronique	- Hygiène
- Automatique	- Lecture de plans
- Machine	- Dessin
- Arabe	- Théorie du navire
- Anglais Général	- Sécurité
- Anglais Technique	- Technologie-Combustibles/Eau
- Comptabilité	- Technologie-Construction
- Instruments/Simulateur	- TP. Electricité-Electrotech.
- R.D.M	- TP. Electronique
- Signaux	- TP. Automatique
- Embarcations/Matelotage	- TP. Navire/Froid/Machine
- Mécanique	- TP. Usinage-Tour-Soudure
- Mathématiques	- Embarcation/Matelotage
- Hygiène	
- Informatique	
- Radioelectricité	
- Lecture de plans	
- Radiocommunication-Radiolocalisation	
- TP. Electronique-Radio-Radar	
- TP. Automatique	

DUREE DE LA FORMATION DES OFFICIERS PONT, MACHINE ET RADIO-ELECTRONICIEN DE LA MARINE MARCHANDE



Annexe 3

DIRECTION DE LA FLOTTE
OP3-PMS/AL

- DATE : 14 Janvier 1982

TABLEAU DES SALAIRES
DE PERSONNEL OFFICIER
APPLICABLE A/C DE JANVIER 1982

FONCTION	SALAIRES >>> ANNEE D'ANCIENNETE	GRAND CABOTAGE			LONG COURS								
		CLC - OM1 OR1 - LLC	CMK - OM1 OM2 - LLC - LM1	CMN1 - OM1 OM2 - LM1	CLC - OM1 OR1 - LLC	CMK - OM1 OM2 - LLC - LM2	CMN1 - OM1 OM2 - LM2						
		SAL. MOIS Y1-JRS	SAL. MOIS Y1-JRS	SAL. MOIS Y1-JRS	SAL. MOIS Y1-JRS	SAL. MOIS Y1-JRS	SAL. MOIS Y1-JRS						
CA 'LIEU	1 - 0 A 3	10.474,30	319,14	8.630,40	317,84	-	-	13.101,90	436,92	11.994,50	319,85	-	-
	2 - 4 A 6	10.849,30	321,45	8.811,40	320,05	-	-	13.682,90	452,76	12.417,90	413,33	-	-
	3 - 7 A 9	11.224,30	323,76	9.192,40	321,49	-	-	14.264,30	468,54	12.862,30	421,74	-	-
	4 - 10 A 12	11.600,00	326,07	9.573,40	322,93	-	-	14.845,70	484,04	13.292,40	429,04	-	-
	5 - 13 A 15	11.975,00	328,38	9.954,40	324,37	-	-	15.427,10	499,54	13.712,40	437,35	-	-
	6 - 16 A PLUS	12.350,00	330,69	10.335,40	325,81	-	-	16.008,50	515,04	14.132,40	445,65	-	-
CHEF REC.	1 - 0 A 3	8.414,00	314,16	6.570,00	305,94	7.483,50	348,71	11.858,10	386,30	11.122,10	370,74	-	-
	2 - 4 A 6	8.763,00	325,46	6.880,00	326,34	7.727,50	367,84	12.208,10	409,60	11.621,40	384,04	-	-
	3 - 7 A 9	9.112,00	336,76	7.190,00	326,53	8.066,50	388,97	12.594,10	432,92	11.918,40	397,17	-	-
	4 - 10 A 12	9.461,00	348,06	7.500,00	326,95	8.415,50	410,10	12.980,10	456,80	12.314,40	411,47	-	-
	5 - 13 A 15	9.810,00	359,36	7.810,00	327,37	8.764,50	431,23	13.366,10	480,68	12.640,40	425,77	-	-
	6 - 16 A PLUS	10.159,00	370,66	8.120,00	327,79	9.113,50	452,36	13.752,10	504,56	12.956,40	440,07	-	-
ED. REC. ED. CAPT.	1 - 0 A 3	8.206,00	273,53	7.338,20	244,64	8.511,50	217,21	9.183,40	304,11	8.594,30	279,84	7.889,30	263,01
	2 - 4 A 6	8.411,20	280,57	7.642,20	251,42	8.736,30	234,11	9.482,40	314,75	8.873,60	289,12	8.130,30	271,00
	3 - 7 A 9	8.616,40	287,61	7.946,20	258,06	8.961,20	251,65	9.773,40	325,39	9.011,00	298,47	8.380,40	280,28
	4 - 10 A 12	8.821,60	294,65	8.250,20	264,70	9.186,00	268,79	10.004,40	336,03	9.261,10	308,04	8.591,10	289,70
	5 - 13 A 15	9.026,80	301,69	8.554,20	271,34	9.410,80	285,88	10.422,80	346,67	9.541,40	317,31	8.801,40	299,20
	6 - 16 A 18	9.232,00	308,73	8.862,20	277,98	9.635,60	302,97	10.841,20	357,31	9.772,00	326,65	9.012,00	308,60
	7 - 19 A 21	9.437,20	315,77	9.170,20	284,62	9.860,40	320,06	11.259,60	367,95	9.912,40	335,93	9.222,40	317,93
	8 - 22 A PLUS	9.642,40	322,81	9.474,20	291,26	10.085,20	337,15	11.678,00	378,59	10.062,60	345,21	9.432,60	327,23
OFFICIER PONT RADIO MACHINE ELECT.	1 - 0 A 2	4.784,00	161,81	4.501,00	160,25	4.088,00	136,30	6.270,00	201,00	5.988,00	196,70	5.768,00	191,95
	2 - 3 A 4	5.013,00	167,13	4.829,00	166,03	4.210,00	140,30	6.581,00	216,70	6.086,00	202,61	5.883,00	196,75
	3 - 5 A 7	5.242,00	172,45	5.058,00	164,83	4.328,00	144,30	6.713,00	222,92	6.216,00	208,52	6.064,00	201,48
	4 - 8 A 10	5.471,00	177,77	5.287,00	163,63	4.446,00	148,30	6.845,00	229,24	6.348,00	214,43	6.196,00	206,47
	5 - 11 A 13	5.700,00	183,09	5.516,00	162,43	4.564,00	152,30	6.977,00	235,56	6.480,00	220,34	6.328,00	211,46
	6 - 14 A 16	5.929,00	188,41	5.745,00	161,23	4.682,00	156,30	7.109,00	241,88	6.612,00	226,25	6.458,00	216,45
	7 - 17 A 19	6.158,00	193,73	5.974,00	160,03	4.800,00	160,30	7.241,00	248,20	6.744,00	232,16	6.588,00	221,44
	8 - 20 A 22	6.387,00	199,05	6.203,00	158,83	4.918,00	164,30	7.373,00	254,52	6.876,00	238,07	6.718,00	226,43
	9 - 23 A 25	6.616,00	204,37	6.432,00	157,63	5.036,00	168,30	7.505,00	260,84	7.008,00	243,98	6.848,00	231,42
	10 - 26 A PLUS	6.845,00	209,69	6.661,00	156,43	5.154,00	172,30	7.637,00	267,16	7.140,00	249,89	6.978,00	236,41

**BARÈME DES SALAIRES
DU PERSONNEL D'EXECUTION
APPLICABLE A/C DU 01 JANVIER 1992**

LES CREES

Fonction	SANS ANCIENNETE			5% D'ANCIENNETE			10% D'ANCIENNETE			15% D'ANCIENNETE			20% D'ANCIENNETE		
	S/BASE	Lx.JRS	Lx.HS	S/BASE	Lx.JRS	Lx.HS	S/BASE	Lx.JRS	Lx.HS	S/BASE	Lx.JRS	Lx.HS	S/BASE	Lx.JRS	Lx.HS
Mre Equip.	2.337,50	77,92	16,88	2.454,38	81,81	17,72	2.571,25	85,71	18,56	2.688,13	89,60	19,41	2.805,00	93,50	20,25
1er Mot.	1.903,00	63,43	13,74	1.998,15	66,61	14,43	2.093,30	69,78	15,11	2.188,45	72,95	15,80	2.283,60	76,12	16,45
Charpentier	2.070,20	69,01	14,95	2.173,71	72,46	15,69	2.277,22	75,91	16,44	2.380,73	79,36	17,19	2.484,24	82,81	17,94
Cuisinier	1.903,00	63,43	13,74	1.998,15	66,61	14,43	2.093,30	69,78	15,11	2.188,45	72,95	15,80	2.283,60	76,12	16,45
Mot. Qual.	1.903,00	63,43	13,74	1.998,15	66,61	14,43	2.093,30	69,78	15,11	2.188,45	72,95	15,80	2.283,60	76,12	16,45
Matelot	1.809,50	60,32	13,06	1.899,98	63,33	13,72	1.990,45	66,35	14,37	2.080,93	69,36	15,02	2.171,40	72,38	15,68
Nov. Pont	1.372,80	45,76	9,91	1.441,44	48,05	10,41	1.510,08	50,34	10,90	1.578,72	52,62	11,40	1.647,36	54,91	11,89
Mre Grals.	2.337,50	77,92	16,88	2.454,38	81,81	17,72	2.571,25	85,71	18,56	2.688,13	89,60	19,41	2.805,00	93,50	20,25
Grals. Ouv.	2.179,10	72,64	15,73	2.288,06	76,27	16,52	2.397,01	79,90	17,31	2.505,97	83,53	18,09	2.614,92	87,16	18,88
Gralsseur	2.070,20	69,01	14,95	2.173,71	72,46	15,69	2.277,22	75,91	16,44	2.380,73	79,36	17,19	2.484,24	82,81	17,94
Motloy.	1.809,50	60,32	13,06	1.899,98	63,33	13,72	1.990,45	66,35	14,37	2.080,93	69,36	15,02	2.171,40	72,38	15,68
Nov. Mach.	1.372,80	45,76	9,91	1.441,44	48,05	10,41	1.510,08	50,34	10,90	1.578,72	52,62	11,40	1.647,36	54,91	11,89
Mle Hôtel	2.070,20	69,01	14,95	2.173,71	72,46	15,69	2.277,22	75,91	16,44	2.380,73	79,36	17,19	2.484,24	82,81	17,94
Cuisinier	2.070,20	69,01	14,95	2.173,71	72,46	15,69	2.277,22	75,91	16,44	2.380,73	79,36	17,19	2.484,24	82,81	17,94
Boulangier	2.005,30	66,84	14,48	2.105,57	70,19	15,20	2.205,83	73,53	15,93	2.306,10	76,87	16,65	2.406,36	80,21	17,37
Garçons	1.678,60	55,95	12,12	1.762,53	58,75	12,73	1.846,46	61,55	13,33	1.930,39	64,35	13,94	2.014,32	67,14	14,54
Postal	1.678,60	55,95	12,12	1.762,53	58,75	12,73	1.846,46	61,55	13,33	1.930,39	64,35	13,94	2.014,32	67,14	14,54

GRAND CARRIERE

Fonction	SANS ANCIENNETE			5% D'ANCIENNETE			10% D'ANCIENNETE			15% D'ANCIENNETE			20% D'ANCIENNETE		
	S/BASE	Lx.JRS	Lx.HS	S/BASE	Lx.JRS	Lx.HS	S/BASE	Lx.JRS	Lx.HS	S/BASE	Lx.JRS	Lx.HS	S/BASE	Lx.JRS	Lx.HS
Mre Equip.	2.071,30	69,04	14,95	2.174,87	72,50	15,70	2.278,43	75,95	16,45	2.382,00	79,40	17,20	2.485,56	82,85	17,95
1er Mot.	1.694,00	56,47	12,23	1.778,70	59,29	12,84	1.863,40	62,11	13,45	1.948,10	64,94	14,07	2.032,80	67,76	14,68
Charpt.	1.833,70	61,12	13,24	1.925,39	64,18	13,90	2.017,07	67,24	14,56	2.108,76	70,29	15,23	2.200,44	73,35	15,89
Magasiner	1.694,00	56,47	12,23	1.778,70	59,29	12,84	1.863,40	62,11	13,45	1.948,10	64,94	14,07	2.032,80	67,76	14,68
Mot. Qual.	1.694,00	56,47	12,23	1.778,70	59,29	12,84	1.863,40	62,11	13,45	1.948,10	64,94	14,07	2.032,80	67,76	14,68
Mot.	1.604,90	53,50	11,59	1.685,15	56,17	12,17	1.765,39	58,85	12,75	1.845,64	61,52	13,33	1.925,88	64,20	13,90
Nov. Pont	1.210,00	40,33	8,74	1.270,50	42,35	9,17	1.331,00	44,37	9,61	1.391,50	46,38	10,05	1.452,00	48,40	10,48
Mre Grals.	2.071,30	69,04	14,95	2.174,87	72,50	15,70	2.278,43	75,95	16,45	2.382,00	79,40	17,20	2.485,56	82,85	17,95
Grals. Ouv.	1.938,20	64,61	13,99	2.035,11	67,84	14,69	2.132,02	71,07	15,39	2.228,93	74,30	16,07	2.325,84	77,53	16,79
Gralsseur	1.833,70	61,12	13,24	1.925,39	64,18	13,90	2.017,07	67,24	14,56	2.108,76	70,29	15,23	2.200,44	73,35	15,89
Motloy.	1.604,90	53,50	11,59	1.685,15	56,17	12,17	1.765,39	58,85	12,75	1.845,64	61,52	13,33	1.925,88	64,20	13,90
Nov. Mach.	1.210,00	40,33	8,74	1.270,50	42,35	9,17	1.331,00	44,37	9,61	1.391,50	46,38	10,05	1.452,00	48,40	10,48
Mle Hôtel	1.833,70	61,12	13,24	1.925,39	64,18	13,90	2.017,07	67,24	14,56	2.108,76	70,29	15,23	2.200,44	73,35	15,89
Cuisinier	1.833,70	61,12	13,24	1.925,39	64,18	13,90	2.017,07	67,24	14,56	2.108,76	70,29	15,23	2.200,44	73,35	15,89
Boulangier	1.750,10	58,34	12,64	1.837,61	61,25	13,33	1.925,11	64,17	13,90	2.012,62	67,09	14,53	2.100,12	70,00	15,16
Garçons	1.458,60	48,62	10,53	1.531,53	51,05	11,11	1.604,46	53,48	11,58	1.677,39	55,91	12,11	1.750,32	58,34	12,64
Postal	1.458,60	48,62	10,53	1.531,53	51,05	11,11	1.604,46	53,48	11,58	1.677,39	55,91	12,11	1.750,32	58,34	12,64

2

OFFICIERS ASSIMILÉS PAR BRITANNIA A/C DU 01/01/92					
N° ANCIENNETÉ	N° AFFECTATION	GRAND CABOTAGE		LONG COURS	
		SAL. MOIS	TX-JRS	SAL. MOIS	TX-JRS
	0 A 2	3660,60	122,69	3181,00	172,70
	2 A 4	3788,60	126,24	3313,00	177,19
	3 A 7	3893,70	129,84	3439,50	181,32
	4 A 10	4002,90	133,73	3573,70	185,79
	5 A 13	4110,70	137,02	3699,10	189,97
	6 A 16	4218,10	140,41	3827,40	194,28
	7 A 19	4318,60	143,95	3959,80	198,86
	8 A 22	4429,70	147,66	4090,70	203,02
	9 A 25	4536,40	151,21	4218,30	207,28
	10 A PLUS	4646,40	154,88	4348,10	211,60

BAREME E. O. PORT & MARCHÉ A/C DU 01/01/92					
N°	FONCTION	GRAND CABOTAGE		LONG COURS	
		SAL. MOIS	TX-JRS	SAL. MOIS	TX-JRS
1	E. O. L. C.	1885,20	62,77	2030,60	67,69
2	E. O. P. / A.	1112,70	37,89	1845,60	61,45
3	E. O. P. / A. ALPH. ELACT.	1265,00	42,11	1405,60	46,86

MARINS EMBARQUES A BORD DES NAVIRES MAROCAINS ET ETRANGERS
[SITUATION AU 31/12/1993]

ANNEE	1993
GENRE DE NAVIGATION	
[COMMERCE]	
MARINS MAROCAINS.....	3049
OFFICIERS MAROCAINS.....	266
OFFICIERS ETRANGERS.....	13
TOTAL DES MARINS AU COMMERCE.....	3328
[PECHE]	
PECHE HAUTURIERE:	
MARINS MAROCAINS.....	7213
OFFICIERS MAROCAINS.....	377
MARINS ETRANGERS.....	1271
OFFICIERS ETRANGERS.....	1002
TOTAL DES MARINS A LA PECHE HAUTURIERE.....	10363
PECHE COTIERE:	
MARINS MAROCAINS.....	47159
CANOTIERS.....	30258
TOTAL DES MARINS A LA PECHE ARTISANALE.....	77417
TOTAL GENERAL DES MARINS A LA PECHE.....	87780
[SERVICE]	
REMORQUEURS:	
MARINS MAROCAINS.....	173
OFFICIERS MAROCAINS.....	36
TOTAL DES MARINS AU REMORQUAGE.....	209
PILOTINES:	
MARINS MAROCAINS.....	65
OFFICIERS MAROCAINS.....	52
OFFICIERS ETRANGERS.....	2
TOTAL DES MARINS AU PILOTTAGE.....	119

Annexe 7

MARINS EMBARQUES A BORD DES NAVIRES MAROCAINS ET ETRANGERS	
DRAGUES:	
MARINS MAROCAINS.....	55
OFFICIERS MAROCAINS.....	25
TOTAL DES MARINS AU DRAGAGE.....	80
TOTAL DES MARINS A LA SERVITUDE.....	478
NAVIRES DE L'ETAT	
RECHERCHE SCIENTIFIQUE:	
MARINS MAROCAINS.....	20
OFFICIERS MAROCAINS.....	10
TOTAL DES MARINS DE RECHERCHE SCIENTIFIQUE.....	30
NAVIRES ECOLES:	
MARINS MAROCAINS.....	48
OFFICIERS MAROCAINS.....	24
TOTAL DES MARINS DE NAVIRES ECOLES.....	72
NAVIRES DE SAUVETAGE EN MER:	
MARINS MAROCAINS.....	18
OFFICIERS MAROCAINS.....	18
TOTAL DES MARINS AU SAUVETAGE.....	36
TOTAL DES MARINS DES NAVIRES DE L'ETAT.....	138
NAVIRES ETRANGERS	
NAVIRES DE COMMERCE ETRANGERS:	
MARINS MAROCAINS.....	918
NAVIRES DE PECHE ETRANGERS:	
MARINS MAROCAINS.....	198
TOTAL DES MARINS A BORD DES NAVIRES ETRANGERS.....	1111
TOTAL GENERAL DES MARINS EMBARQUES.....	92785
INSCRITS MARITIMES	
INSCRITS PROVISOIRES.....	60189
INSCRITS DEFINITIFS.....	44204
TOTAL DES INSCRITS.....	104393

Annexe 8

ETAT GENERAL DES MARINS EMBARQUES A BORD DES NAVIRES MAROCAINS ET ETRANGERS
[SITUATION DEFINITIVE DE 1981 A 1992]

A F F I L I E S	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992
CARRE DE NAVIGATION:												
[COMMERCE]												
COMMERCÉ:												
MARINS.....	2200	2260	2260	2000	2410	2235	2002	2030	2000	2225	2415	2285
OFFICIERS.....	350	260	260	265	310	404	300	499	521	527	462	475
OFFICIERS ETRANGERS.....	210	250	250	153	250	80	170	113	104	99	99	100
TOTAL DES MARINS AU COMMERCE	2660	2770	2770	2413	2970	3322	3270	3650	3705	3851	3975	3860
[PECHE]												
PECHE NAUTIERE:												
MARINS.....	1234	1235	1247	2023	2328	2426	2227	4121	5261	6366	1199	6726
OFFICIERS.....	41	41	41	40	77	151	41	376	303	530	500	611
MARINS ETRANGERS.....	877	893	924	1294	1508	1619	2291	2076	2150	2508	1080	1818
OFFICIERS ETRANGERS.....	100	115	135	837	742	692	164	821	825	1020	390	1301
TOTAL DES MARINS A LA PECHE NAUTIERE	2650	2664	2750	4150	4753	4982	6224	7394	8699	9522	3979	10863
PECHE COTIERE:												
MARINS.....	15881	16267	17973	20216	26095	27022	20150	20160	20257	20652	22126	22602
OFFICIERS.....	5901	6500	6522	15437	18221	16130	16784	18716	20060	16202	19066	18722
TOTAL DES MARINS A LA PECHE ARTISANALE	21782	22867	24495	35653	44316	43152	46934	56876	62217	62934	61092	66324
TOTAL DES MARINS A LA PECHE	24432	25531	27245	39803	47655	48104	53362	64176	73016	72457	77119	79686
[SERVICIUM]												
REMORQUEURS:												
MARINS.....	112	111	111	130	170	184	166	192	191	195	214	242
OFFICIERS.....	32	32	32	40	41	63	69	76	76	90	110	152
TOTAL DES MARINS AU REMORQUAGE	144	143	143	170	211	247	235	268	267	285	324	394
PILOTAGES:												
MARINS.....	50	50	50	50	51	51	50	110	130	101	86	99
OFFICIERS.....	30	30	30	30	21	21	23	26	26	26	45	49
OFFICIERS ETRANGERS.....	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	-	3
TOTAL DES MARINS AU PILOTAGE	75	75	75	75	76	76	77	140	160	131	131	151
DRAGAGE:												
MARINS.....	50	50	50	50	39	39	43	44	44	43	73	74
OFFICIERS.....	31	31	31	31	22	22	24	29	29	31	42	42
TOTAL DES MARINS AU DRAGAGE	71	71	71	71	61	61	67	73	73	74	115	116
TOTAL DES MARINS A LA SERVICIUM	209	209	209	216	296	296	411	513	522	504	691	664
[NAVIRES D'ETAT]												
RECHERCHE SCIENTIFIQUE:												
MARINS.....	16	16	16	16	16	16	16	16	17	17	18	18
OFFICIERS.....	10	10	10	10	10	10	9	11	11	10	10	10
TOTAL DES MARINS DES NAVIRES DE R.SCIENTIFIQUE	26	26	26	26	26	26	25	27	28	27	28	28
NAVIRES D'ECOLE:												
MARINS.....	23	23	23	23	22	22	20	19	19	23	26	46
OFFICIERS.....	9	9	9	9	9	9	10	11	11	10	10	21
TOTAL DES MARINS A BORD DES NAVIRES ECOLES	32	32	32	32	31	31	30	30	30	33	36	67
SAUVETAGE:												
MARINS.....	4	4	4	4	1	2	3	3	3	1	2	10
OFFICIERS.....	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	13
TOTAL DES MARINS AU SAUVETAGE	6	6	6	6	3	4	5	5	5	2	3	23
TOTAL MARINS A BORD DES NAVIRES D'ETAT	64	64	64	64	61	61	59	62	62	63	68	134
MARINS A BORD DES NAVIRES ETRANGERS	80	83	89	105	109	120	1370	670	862	526	530	211
TOTAL GENERAL DES MARINS EMBARQUES	27475	28657	30457	43701	51511	52311	51561	69189	76203	77513	82311	84993

②-2 モロッコ側回答書・日本語仮訳

1. 国家開発計画のプロジェクト状況

1. 海上輸送における国家政策は、益々拡大する貿易をカバーするために、モロッコ海上輸送システムの段階的な増強を目指すものである。

2. モロッコの商船団

	1989	1990	1991	1992	1993
船団* (数量)	65	63	60	58	52
輸送トン数	6,196,263	4,673,431	6,645,661	8,261,481	5,761,481
使用船員**	3,601	3,752	3,875	3,936	3,315

* チャーター船を含む

** モロッコ船員と士官のみを意味する：詳しくは § 3.(2)参照

3. 士官および実務職員の報酬 (資料 3、4、5 参照)

4. 海運事情および海上輸送の発展による結果：

- モロッコ人への新雇用の創設
- モロッコ船団を国際舞台においてより競争力のあるものにする
- モロッコ国の外貨の節約

2. モロッコ海運の現状

1. 1991/1992年

1991 年

船種	単位	トン数
カーフェリー	05	9,084
ロールオフ船	06	32,379
一般貨物船	08	23,412
コンテナ船	07	22,318
冷凍、冷蔵船	12	45,635
化学製品運搬船	11	190,959
ばら積貨物船	05	166,350
石油タンカー	03	16,072
貨客船	02	4,960
計	60	511,769

1992 年

船種	単位	トン数
ロールオフ船	8	41,029
コンテナ船	7	18,961
一般貨物船	7	25,677
カーフェリー	12	4,313
化学製品運搬船	11	187,999
冷凍、冷蔵船	12	47,330
ばら積貨物船	04	163,640
石油タンカー	04	22,738
貨客船	01	3,180
計	58	494,867

2. モロッコ経済に実質的に寄与している海運により行われた貿易の貢献は、実際貿易トン数で98%が海運によっていると言うことで明らかである。

	輸入	輸出
1991	16,284,940 トン*	16,958,159 トン*
1992	19,698,106 トン*	16,449,569 トン*

*モロッコ貿易の総量に関する。

3. 商船とは別に以下の船舶がある：

沿岸航路船、漁船、救命艇、港湾雑役船

4. モロッコの主な商業港は：

ナドール、タンジェー、ケニトラ・メディア、モハメディア、カサブランカ、エルハディダ・ジョルフ、サフィ、アガディール、タン・タン、エルアイユン、ダクラ

これらの港は港湾開発事務局（ODEP）により整備され、その施設、設備等は当事務局の所轄である。

5. 海運を担当する官庁は、漁業・海運省所轄の海運局海運部である。

海運部は以下の組織となっている：

- 貨物およびチャーター課
- 海運の組織および調整課
- 付属業務課
- 投資調整課

3. モロッコ人船員の現行ステータス

1. 海運教育機関、センターを終了し、卒業証を持つすべての士官、船員は、船員手帳を受領する（無料発行）。

その権限は、商船海運局が持っている。

2. および3. (資料6、7参照)

4. 特典等は政令と省令により定められ、例外条件もその中に定められている。

5. 必要な場合には、公認免許を有する外国人船員に対して免許が交付される。

6. 乗組員は、各試験に合格すれば海洋漁業・商船海運省の発行する資格、免許証を所有できる。これらの試験は各種船舶センターで行われている。内容は筆記、口頭、実技試験で構成されている。各機関が、試験問題の作成、採点評価を行う。

7. 入学が選抜試験により行われるので、海運学校の卒業試験に不合格となる生徒の割合は少ない。

8. 漁業・海運省は、海運および船員の乗船名簿への登録政策の活性化のための業務を行っている。

4. モロッコの一般海運教育制度

1. 中等教育機関は7年あり、バカロレア（大学入学資格）が与えられ、それにより大学へアクセスでき、上級学校の入学試験を受験する権利が与えられる。学校または、大学の教育年度は9月より次年6月の末までである。

2. 漁業・海運省はまた遠洋、沿岸漁業の管理、開発、教育の業務も行っている。これに関して当省は、2つの海洋漁業技術学院（アガディールとタンタン）と、4つの職業資格センターを所有している。これらの訓練機関にいる訓練生数は、全学年、学科を含めて634名である。募集は選抜試験により行われる。

3. モロッコ人船員の中には外国籍船舶に乗船している者もあり、この傾向をより進めるための方策が取られているところである。

5. ISEM (高等海運学院) の現状

1. モロッコにおける海運職業訓練は、1934年に始まり、1957年に国立海運商船士官学校 (ENOMM) の設立により、急速な発展を遂げた。

漁業と商船海運部門で増大しつつある需要を満たすために、1973/1978年の5ヵ年計画で設立されたISEMが1978年にこれを引継いだ。

2. ISEMは、漁業・海運省の配属下に自治運営が行われている。

3.

(Dh=ディルハム モロッコ貨幣単位)

年	ISEM の運営予算	ISEM の投資予算
1990	4 595 007 Dh	
1991	5 367 377 Dh	
1992	5 482 723 Dh	1 300 000 Dh
1993	7 445 260 Dh	9 500 000 Dh
1994	8 346 500 Dh	13 326 134.20 Dh

4. 運営部署、一部職員の住宅、学生寮、看護室、プール、運動場、筋力トレーニングルーム、モスク、厨房、食堂、学生用部屋 (300 ベットの寄宿能力)、パーキング、講義室、集会室、図書室、複写室。

5.
 - 18教室
 - アトリエ及びラボ: 15室
 - ・ 溶接室
 - ・ 旋盤・機械加工室
 - ・ 電子技術ラボ
 - ・ 語学学習室
 - ・ 水および燃料分析ラボ
 - ・ 安全試験ルーム
 - ・ 電子工学ルーム
 - ・ オートメーション工学室

- ・ 航海ルーム
- ・ レーダーシミュレータールーム
- ・ エンジンルーム
- ・ 冷蔵室
- ・ 信号室
- ・ 船員訓練室
- ・ 情報処理室

全設備使用可能

当学院はまた、220総重量トンの教育実習船『アル・モヒット』（1969年購入、800馬力エンジン付き）と、8 mおよび4 mの船艇2隻を所有している。

6. 高等海運学院は様々な海運事業部門に必要な幹部養成のための高等・中等教育の授業を行っている。この授業で海運事業の管理運営、海上航行、漁業・輸送の経済学に関する技術をカバーしている。この教育は、一般教育の共通幹科目、専門分野の理論講義と講義・実習・研修で専門的な技術教育を含んでいる。この教育にはまた、乗船訓練による研修を予定している。I S E Mによる教育科目は資料文書1に記載されている。

近年、I S E Mに年間に登録される学生数は約 200名であった。入学に関し、甲板学科については、数学または理科系の大学入学資格者に、機関学科については、技術系大学入学資格者に門戸が開かれており、選考試験により行われる。

教育期間

二級船長および二等機関士	I S E Mでの教程2年+乗船研修24ヶ月 + I S E Mでの教程1年
遠洋航海船長および一等機関士	I S E Mでの教程3年+乗船研修24ヶ月 + I S E Mでの教程1年

注：詳細は資料2を参照

7. 毎年、約 2,000名の応募者の中から約40名が選抜される。

近年5年間のI S E Mの卒業生数：

部門 \ 年	1990	1991	1992	1993	1994
C. L. C	-	23	-	27	14
O. M. I	14	-	19	-	26
L. L. C	15	20	19	19	16
L. M. C	10	18	15	14	13
C. II	09	-	18	-	12
O. R	-	-	-	-	4
L. II	26	24	22	28	29
O. M. II	01	16	-	11	-
L. M. II	18	23	25	33	26
L. R	11	-	-	-	-

- 注：C. L. C : 遠洋航海船長
 O. M. I : 商船一等機関士
 L. L. C : 遠洋航海航海士
 C. II : 商船二等船長
 O. R : 商船無線技師
 L. II : 商船二等航海士
 O. M. II : 商船二等機関士
 L. M. II : 商船二等機関航海士
 L. R : 商船二等無線技師
 L. M. C : 商船一等機関航海士

8. 1994-1995年度大学資格で登録されている学生数は、182名で、以下のように配分されている。

学科	甲板学科	機関学科
第1学年	23	20
第2学年	20	11
第3学年	24	32
(応用年)		
C.L.C	37	
O.R	07	
O.M. II		08

9. ISEMの卒業証書は、要求された航海条件が満たされた時点で、漁業・海運省の免許に替えられることになっている。

応用学科 (C.L.C、O.M. I、C. II、O.M. II) の入学者のみが、これらの学科に登録する際 (応用コース受講のために要求される条件)、すでに航海士免許を取得していた。

注： 応用部門については要点第7表を参照。

10. 全てのモロッコ海軍船舶は、実習訓練のために卒業資格者を乗船させる義務がある。
11. その割合は総定員の約10%である。
12. その訓練、寄宿費用はモロッコの学生の場合、無料である。外国人生徒ならびに応用学科の生徒は寄宿費を支払う。
13. モロッコの学生は国の支給する奨学金を支給される。

外国人学生の場合には、モロッコ国の協力担当省より支給される奨学金を支給されるか、または外国の機関が負担する。

14. 教員数： 43名

- A. - ISEM付き教員
- C. L. C = 7名
 - O. M. I = 7名
 - 公務エンジニア = 4名
 - 補助教員 = 3名
 - 応用エンジニア = 2名
 - 助手 = 2名

- B. - アルバイト教員： 13名
- C. L. C = 4名
 - 応用エンジニア = 1名
 - 管理 = 1名
 - 医師 = 1名
 - その他 = 6名

- C. - 派遣教員： 4名
- O. M. I = 1名
 - O. R = 2名
 - O. M. 3 = 1名

- D. - 平和部隊： 1名

高等教育の場合、教官の給料は、公職局によって支給されるとともに、種々の手当金が付加され得る。

15. フランスとの技術協力プロジェクトを存在していたが、1989年に終了した。

16. ISEMが開催した会議の範疇に於いて関係がある。

6. プロジェクトの目標および計画

1. 海員の訓練と免許発行に関する1978年の会議に基づき正規教育の質的向上。かつて教育を受けた士官、または隣国出身の士官のための訓練・再教育機関。

教員の再教育および、同地位の教員を養成する教員の準備。

2. 漁業・海運省

- 国際関係、訓練、法務局
- 訓練部
- ISEM執行部
高等海運学院本部

3. 講義のカリキュラムが定期的に見直され、訓練の質をより向上させるために教育機材を購入する。幹部船員のための海運部門の再教育講義または研修については、需要に従って組み込まれる。
4. ISEMは6ヘクタールの広さがあるので、必要があれば容易に施設の拡大ができる。さらに、教室の改修も可能である。
5. 教員の数は、当学院の活動状況による。予算科目は、必要時の教員募集のために組み込まれている。
6. 教員は求職願書を提出した者の中から、または新聞広告と場合によっては面接か選考試験によってリクルートされる。給料は公職の給料で、学位と年功が考慮され、それに監督官庁と当学院の手当が付加される。

海運部門出身の教員はほぼ全員が外国での教員研修を受けており、その中のいく人かの者は毎年、短期研修に送り出されている。

しかしながら、研修においては、次の専門化された特殊分野に欠陥が見られる。

- 航海システムの開発
- 推進装置、配電装置、およびその補助システムの開発
- 安全機器システムの開発
- 通信システムの開発

7. ISEMは運営予算を持っており、現存の教育機材の保守・メンテナンス経費、消耗機材費、宿泊施設の給持費を確保することができる。

8. 1) プロジェクトの事前調査専門家と機械の技術仕様を決定できる専門家
2) 訓練専門家、兼プロジェクトリーダー
3) コーディネーター／翻訳者
4) レーダー・ビジュアルシミュレーション専門家
5) 機器シミュレーター専門家

9. ISEMのほぼ全生徒は、特にシミュレーションの訓練が受けられ、再教育研修は現役船員のために準備される。

10. 補助機材としては、以下のものが挙げられる。

- 機器シミュレーター1台
- レーダーシミュレーターを補完するビジュアルシステム1台

モロッコ側は以下のものを確保できる；

- A) 管理的と人的協力（事務室、教室、補助職員、各種業務）
- B) 財政的支援（7に記載の運営予算と）

11. 保守職員の訓練は教官訓練の範疇に入る。

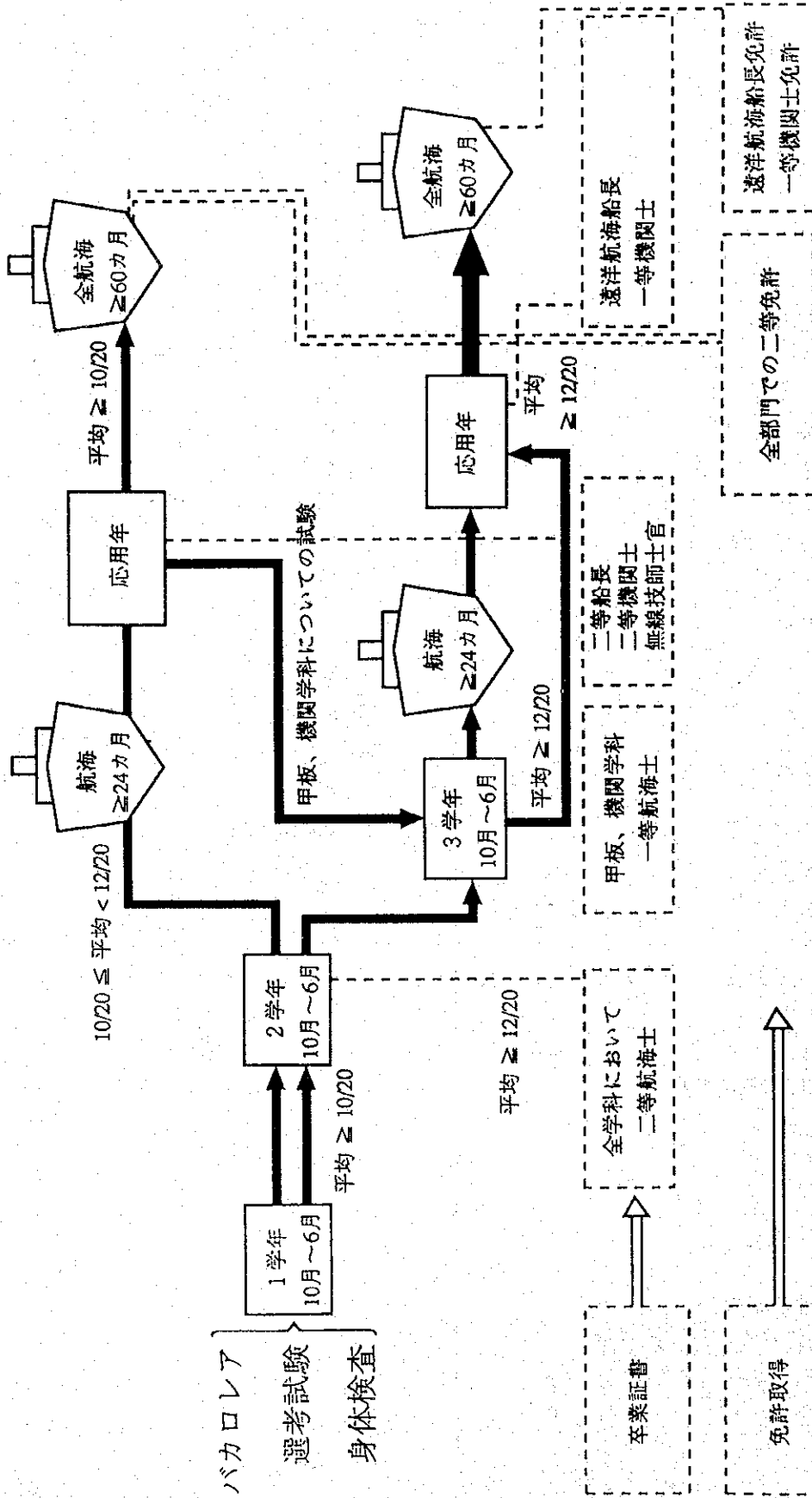
ワークショップの責任者はこれらの設備の責任教員と協力し、ワークショップと研究室のフォローアップとメンテナンスを行い、部下職員の補佐を受ける。

12. 自国政府の紹介でモロッコ政府の承認を受けた外国人学生は当学院の入学を認められる。

I SEMでの教育科目

甲板系	機関系
- 天地学	- 内燃機関
- 航海法	- 蒸気
- 海洋計測	- 補助エンジン
- 海図	- 熱力学
- 安全	- 数学/工学/R. D. M
- 構造工学	- 情報工学
- 操縦 - 推進	- 運転 - 保守 - 修理
- 船舶理論	- 機器補完
- 航海報告	- オートメーション工学
- 開発 - 仕様	- 電子工学
- 法律学	- 電気 - 電子工学
- 針路舵柄法	- 航海報告
- 海運貿易	- 法律学
- 輸送経済	- 一般英語
- 気象 - 海洋学	- 技術英語
- 電気	- アラビア語
- 電子	- 衛生学
- 自動制御	- 海図の読み方
- 機器	- デッサン
- アラビア語	- 船舶理論
- 一般英語	- 安全
- 技術英語	- 科学技術 - 燃料/水
- 会計	- 科学技術 - 建設
- 工具/シミュレーター	- 実習、電気・電気工学
- R. D. M	- 実習、電子工学
- 信号	- 実習、自動制御
- 舟艇/檣楼作業	- 実習、船舶 - 低温 - 機器
- 機械工学	- 実習、加工 - 旋盤 - 溶接
- 数学	- 舟艇/檣楼作業
- 衛生学	
- 情報学	
- 無線	
- 海図の読み方	
- 無線通信 - 電波標定	
- 実習、電子 - 無線 - レーダー	
- 実習、オートメーション工学	

商船の甲板員、機関士および無線通信士官の教育機関



資料3

船団事務局

CDS-SMS/?

日付：1992年1月14日

給与表
士官職員

1992年1月1日適用

職能	部門	年功	大沿岸航海			遠洋航海								
			CLC - OK1 OK1 - LLC	OK1 - OK1 OK1 - LLC - LW1	OK1 - OK1 OK1 - LW1	CLC - OK1 OK1 - LLC	OK1 - OK1 OK1 - LLC - LW2	OK1 - OK1 OK1 - LW1						
			月給 TX-JRS	月給 TX-JRS	月給 TX-JRS	月給 TX-JRS	月給 TX-JRS	月給 TX-JRS						
船長	1 - 0 A 3		10,474,30	349,14	9,520,40	317,53	-	-	13,107,00	434,32	11,904,70	379,01	-	-
	2 - 4 A 6		10,843,30	351,64	9,871,40	321,03	-	-	13,403,00	452,76	12,411,00	413,53	-	-
	3 - 7 A 9		11,236,00	354,22	10,216,00	324,49	-	-	14,000,30	468,34	12,862,30	431,74	-	-
	4 - 10 A 12		11,606,00	356,81	10,586,00	327,95	-	-	14,621,10	484,04	13,252,40	443,01	-	-
	5 - 13 A 15		12,019,10	359,39	10,938,00	327,69	-	-	14,400,70	540,94	15,019,40	500,85	-	-
	6 - 16 A PLUS		12,458,00	361,94	11,387,00	327,70	-	-	14,824,00	553,82	15,321,70	517,93	-	-
機関長	1 - 0 A 3		9,434,00	314,10	8,378,10	285,00	7,443,00	274,31	11,459,10	385,30	11,323,10	370,74	-	-
	2 - 4 A 6		9,763,00	320,44	8,690,30	296,34	7,727,00	267,64	12,200,10	401,60	11,621,40	384,04	-	-
	3 - 7 A 9		10,103,00	326,38	9,040,00	306,63	8,000,30	266,64	13,111,00	423,72	11,910,20	391,12	-	-
	4 - 10 A 12		10,462,00	332,08	9,390,00	316,95	8,207,00	276,64	13,134,40	437,95	12,344,20	411,47	-	-
	5 - 13 A 15		11,790,00	338,20	10,741,10	324,05	9,345,30	311,41	14,440,00	494,08	13,232,00	444,30	-	-
	6 - 16 A PLUS		12,723,70	344,12	11,681,10	324,06	10,073,00	335,71	14,000,10	523,44	14,016,10	500,11	-	-
二等機関士 二等船長	1 - 0 A 3		8,204,00	273,54	7,338,10	244,64	6,617,00	217,21	9,123,40	304,11	8,394,30	270,84	7,880,30	263,01
	2 - 4 A 6		8,431,30	280,57	7,642,10	244,42	6,736,30	224,21	9,443,40	314,76	8,673,00	281,12	8,130,10	271,00
	3 - 7 A 9		8,616,30	287,31	7,741,00	250,06	6,941,00	231,65	9,773,00	326,70	9,011,00	290,47	8,104,40	280,24
	4 - 10 A 12		8,818,70	293,96	7,850,00	256,03	7,123,30	239,71	10,090,00	336,60	9,241,10	308,04	8,491,10	289,70
	5 - 13 A 15		9,031,10	300,70	8,153,30	271,77	7,374,00	246,83	10,426,00	347,56	9,610,40	317,31	8,976,00	295,20
	6 - 15 A 18		9,231,40	307,43	8,366,00	278,83	7,594,00	253,22	10,782,00	358,42	9,790,00	326,65	9,263,10	305,40
	7 - 10 A 21		9,431,00	314,10	8,551,40	285,04	7,806,70	260,22	11,000,10	369,31	9,976,00	335,20	9,536,00	317,83
	8 - 22 A PLUS		9,626,30	320,84	8,749,40	292,01	8,026,00	267,83	11,404,00	380,16	10,241,70	343,72	9,800,70	326,94
士官 甲板 無線 機関 電気	1 - 0 A 1		4,794,00	159,81	4,507,00	160,26	4,083,30	136,30	6,270,00	209,00	5,944,70	196,11	5,768,00	191,55
	2 - 3 A 4		5,013,00	167,13	4,680,00	164,01	4,210,00	140,30	6,401,00	216,70	6,086,20	202,61	5,883,70	196,15
	3 - 5 A 7		5,218,00	172,96	4,840,00	161,63	4,322,00	144,31	6,717,70	221,92	6,251,70	208,52	6,044,10	201,48
	4 - 8 A 10		5,434,00	181,12	5,018,00	167,31	4,444,00	148,20	6,941,10	231,40	6,421,50	214,32	6,194,10	206,41
	5 - 11 A 13		5,641,00	188,06	5,188,70	172,91	4,566,10	152,70	7,176,30	239,16	6,613,20	220,41	6,332,70	211,09
	6 - 14 A 16		5,856,00	195,21	5,368,30	178,64	4,682,10	156,01	7,390,40	246,65	6,793,40	226,34	6,474,00	216,52
	7 - 17 A 19		6,063,30	202,11	5,556,00	184,21	4,799,30	159,40	7,626,20	254,17	6,866,30	232,21	6,611,00	220,59
	8 - 20 A 22		6,274,00	209,22	5,694,00	189,93	4,923,00	161,01	7,844,30	261,41	7,137,30	231,93	6,761,10	224,51
	9 - 23 A 25		6,491,00	216,48	5,870,10	195,49	5,040,20	164,01	8,020,00	269,34	7,320,60	241,01	6,896,00	230,23
	10 - 26 A PLUS		6,699,00	223,30	6,033,50	201,12	5,161,30	172,44	8,303,00	276,76	7,494,60	249,84	7,052,10	235,01

資料 4

船団事務局

CDS-SMS/?

日付：1992年1月28日

給与表
実務職員

1992年1月1日適用

遠洋航海

職能	給与へ入			給与へ入			給与へ入			給与へ入			給与へ入		
	Tx.JRS	Tx.MS	年功なし	Tx.JRS	Tx.MS	年功5年	Tx.JRS	Tx.MS	年功10年	Tx.JRS	Tx.MS	年功15年	Tx.JRS	Tx.MS	年功20年
機器長	2,337,50	77,92	16,88	2,454,38	81,81	17,72	2,571,25	85,71	18,56	2,688,13	89,60	19,41	2,805,00	93,50	20,25
水夫長	1,903,00	63,43	13,74	1,998,15	66,61	14,43	2,093,30	69,78	15,11	2,188,45	72,95	15,80	2,283,60	76,12	16,49
船大工	2,070,20	69,01	14,95	2,173,71	72,46	15,69	2,277,22	75,91	16,44	2,380,73	79,36	17,19	2,484,24	82,81	17,94
倉庫係	1,903,00	63,43	13,74	1,998,15	66,61	14,43	2,093,30	69,78	15,11	2,188,45	72,95	15,80	2,283,60	76,12	16,49
ホテル長	1,903,00	63,43	13,74	1,998,15	66,61	14,43	2,093,30	69,78	15,11	2,188,45	72,95	15,80	2,283,60	76,12	16,49
水夫	1,809,50	60,32	13,06	1,899,90	63,53	13,72	1,990,45	66,35	14,37	2,080,93	69,36	15,02	2,171,40	72,38	15,68
甲板係	1,372,80	45,76	9,91	1,441,44	48,05	10,41	1,510,08	50,34	10,90	1,578,72	52,62	11,40	1,647,36	54,91	11,89
給油長	2,337,50	77,92	16,88	2,454,38	81,81	17,72	2,571,25	85,71	18,56	2,688,13	89,60	19,41	2,805,00	93,50	20,25
給油係	2,179,10	72,44	15,73	2,288,06	76,27	16,52	2,397,01	79,90	17,31	2,505,97	83,53	18,09	2,614,92	87,16	18,88
給油工	2,070,20	69,01	14,95	2,173,71	72,46	15,69	2,277,22	75,91	16,44	2,380,73	79,36	17,19	2,484,24	82,81	17,94
清掃夫	1,809,50	60,32	13,04	1,899,90	63,53	13,72	1,990,45	66,35	14,37	2,080,93	69,36	15,02	2,171,40	72,38	15,68
機器係	1,372,80	45,76	9,91	1,441,44	48,05	10,41	1,510,08	50,34	10,90	1,578,72	52,62	11,40	1,647,36	54,91	11,89
ホテル係	2,070,20	69,01	14,95	2,173,71	72,46	15,69	2,277,22	75,91	16,44	2,380,73	79,36	17,19	2,484,24	82,81	17,94
コック	2,070,20	69,01	14,95	2,173,71	72,46	15,69	2,277,22	75,91	16,44	2,380,73	79,36	17,19	2,484,24	82,81	17,94
パン職人	2,005,30	66,84	14,40	2,105,57	70,19	15,20	2,205,83	73,53	15,93	2,306,10	76,87	16,65	2,406,36	80,21	17,37
ボ	1,678,60	55,95	12,12	1,762,53	58,75	12,73	1,846,46	61,55	13,33	1,930,39	64,35	13,94	2,014,32	67,14	14,54
郵便係	1,678,60	55,95	12,12	1,762,53	58,75	12,73	1,846,46	61,55	13,33	1,930,39	64,35	13,94	2,014,32	67,14	14,54

大沿岸航海

職能	給与 [△] -入	Tx.JRS	Tx.MS	給与 [△] -入	Tx.JRS	Tx.MS	給与 [△] -入	Tx.JRS	Tx.MS	給与 [△] -入	Tx.JRS	Tx.MS	給与 [△] -入	Tx.JRS	Tx.MS
	年功なし			年功 5 年			年功 10 年			年功 15 年			年功 20 年		
機長	2,071,30	69,04	14,95	2,174,87	72,50	15,70	2,278,43	75,95	16,45	2,382,00	79,40	17,20	2,485,56	82,85	17,95
水夫長	1,694,00	56,47	12,23	1,778,70	59,29	12,84	1,863,40	62,11	13,45	1,948,10	64,94	14,07	2,032,80	67,76	14,68
船大工	1,833,70	61,12	13,24	1,925,39	64,18	13,90	2,017,07	67,24	14,56	2,108,76	70,29	15,23	2,200,44	73,35	15,89
倉庫係	1,694,00	56,47	12,23	1,778,70	59,29	12,84	1,863,40	62,11	13,45	1,948,10	64,94	14,07	2,032,80	67,76	14,68
ホテル長	1,694,00	56,47	12,23	1,778,70	59,29	12,84	1,863,40	62,11	13,45	1,948,10	64,94	14,07	2,032,80	67,76	14,68
水夫	1,604,90	53,50	11,59	1,685,15	56,17	12,17	1,765,39	58,85	12,75	1,845,64	61,52	13,33	1,925,88	64,29	13,90
甲板係	1,210,00	40,33	8,74	1,270,50	42,35	9,17	1,331,00	44,37	9,61	1,391,50	46,38	10,05	1,452,00	48,40	10,48
給油長	2,071,30	69,04	14,95	2,174,87	72,50	15,70	2,278,43	75,95	16,45	2,382,00	79,40	17,20	2,485,56	82,85	17,95
給油係	1,938,20	64,61	13,99	2,035,11	67,84	14,64	2,132,02	71,07	15,39	2,228,93	74,30	16,07	2,325,84	77,53	16,79
給油工	1,833,70	61,12	13,24	1,925,39	64,18	13,90	2,017,07	67,24	14,56	2,108,76	70,29	15,23	2,200,44	73,35	15,89
清掃夫	1,604,90	53,50	11,59	1,685,15	56,17	12,17	1,765,39	58,85	12,75	1,845,64	61,52	13,33	1,925,88	64,29	13,90
機器係	1,210,00	40,33	8,74	1,270,50	42,35	9,17	1,331,00	44,37	9,61	1,391,50	46,38	10,05	1,452,00	48,40	10,48
ホテル係	1,833,70	61,12	13,24	1,925,39	64,18	13,90	2,017,07	67,24	14,56	2,108,76	70,29	15,23	2,200,44	73,35	15,89
コック	1,833,70	61,12	13,24	1,925,39	64,18	13,90	2,017,07	67,24	14,56	2,108,76	70,29	15,23	2,200,44	73,35	15,89
パン職人	1,750,10	58,34	12,64	1,837,61	61,25	13,33	1,927,11	64,37	13,90	2,012,62	67,09	14,53	2,100,12	70,00	15,16
ボーイ	1,458,60	48,62	10,53	1,531,53	51,05	11,11	1,604,46	53,48	11,58	1,677,39	55,91	12,11	1,750,32	58,34	12,64
郵便係	1,458,60	48,62	10,53	1,531,53	51,05	11,11	1,604,46	53,48	11,58	1,677,39	55,91	12,11	1,750,32	58,34	12,64

資料 5

1992年1月1日の給与表に準じる仕官				
年功	大沿岸航海		遠洋航海	
	月給	TX-JRS	月給	TX-JRX
1. 0~2	3680,60	122,69	5181,00	172,70
2. 3~4	3781,40	126,28	5313,00	177,10
3. 5~7	3895,70	129,81	5439,50	181,32
4. 8~10	4002,90	133,71	5573,70	185,79
5. 11~13	4110,70	137,02	5699,10	189,97
6. 14~16	4213,10	140,47	5827,80	194,28
7. 17~19	4318,60	143,95	5959,80	198,66
8. 20~22	4429,70	147,66	6096,70	203,02
9. 23~25	4536,40	151,21	6218,30	207,28
10. 26~以上	4646,40	154,80	6346,10	211,60

1992年1月1日 甲板、機関の給与表				
職能	大沿岸航海		遠洋航海	
	月給	TX-JRS	月給	TX-JRX
1 I.O.L.C.	1865,20	62,77	2030,60	67,69
2 I.O.P./A.	1112,70	57,09	1845,60	61,45
3 I.O.P./A. AID EXCT.	1265,00	42,11	1405,60	45,86

資料6

モロッコおよび外国船舶に乗船している海員
[1993年12月31日の状況]

年	1993年
船種	
<商船>	
一 モロッコ人海員	3049
一 モロッコ人士官	266
外国人士官	13
商船に従事する海員合計	3338
<漁船>	
遠洋漁業	
モロッコ人海員	7213
モロッコ人士官	827
外国人海員	1271
外国人士官	1002
遠洋漁業に従事する海員合計	10313
沿岸漁業	
モロッコ人海員	47159
ボートによる漁業に従事する者	30258
手作業による漁業海員合計	77417
総漁業海員	87730
<港湾雑役船>	
曳航船：	(判読不能)
モロッコ人海員	
モロッコ人士官	
曳航船員合計	
水先案内人	(判読不能)
モロッコ人海員	
モロッコ人士官	
外国人士官	
水先案内海員合計	

浚渫船：	
モロッコ人海員	55
モロッコ人士官	25
浚渫船海員合計	<u>80</u>
港湾雑役船員合計	478
＜国家所有船舶＞	
学術調査船：	
モロッコ人海員	20
モロッコ人士官	10
学術調査海員合計	<u>30</u>
練習船：	
モロッコ人海員	48
モロッコ人士官	24
練習船海員合計	<u>72</u>
海洋救命艇：	
モロッコ人海員	18
モロッコ人士官	18
海洋救命艇海員合計	<u>36</u>
国家所有船舶の海員合計	138
＜外国船舶＞	
外国貿易船舶：	
モロッコ人海員	918
外国漁船	
モロッコ人海員	198
外国船舶に乗船している海員合計	<u>1116</u>
乗船海員総計	92785

＜海員登録者＞	
一時的登録者	60189
最終登録者	44204
登録者合計	<u>104393</u>

資料7

モロッコおよび外国船舶に乗員している海員の総表
(1981年から1992年の状況)

年	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992
<商船>												
商業:												
船員	2205	2740	2742	2000	2410	2825	2502	2924	3010	3225	2713	2155
士官	210	265	260	265	340	404	384	499	521	577	451	357
外国人士官	110	150	150	153	230	40	170	113	104	93	50	109
商船に従事する海員合計	2465	2755	2752	2418	2690	3229	2886	3524	3735	3895	2614	2019
<漁船>												
遠洋漁業:												
船員	1274	1225	1367	2033	2220	2436	2327	4121	3381	4366	2154	5736
士官	41	43	44	46	37	154	45	376	321	539	516	611
外国人船員	877	692	924	1394	1581	1618	2763	2876	2130	1828	1640	1838
外国人士官	156	115	125	637	743	593	164	821	425	1029	330	1261
沖合漁業に従事する海員合計	1649	1644	2150	4150	4277	4994	6321	7394	6599	9523	6177	15509
沿岸漁業:												
船員	1344	1637	1797	2026	2695	2782	3020	2868	3237	2452	2216	4202
ボートによる漁業に従事する者	350	400	633	1537	1631	1679	1678	1874	2469	2422	2586	2572
手作業による漁業海員合計	2170	2147	2430	3563	4326	4461	4700	5682	6217	6294	6409	6931
漁業海員合計	2419	2511	2725	3983	4755	4183	5362	6476	7106	7257	2773	15840
<港湾雑役船>												
曳航船:												
船員	111	111	111	130	171	154	166	191	211	175	214	243
士官	32	32	32	46	41	43	69	74	73	90	131	153
曳航船海員合計	143	143	143	176	212	197	235	265	284	265	345	396
水先案内船:												
船員	30	30	30	35	31	31	30	118	110	101	96	99
士官	20	20	20	20	21	21	23	26	26	25	15	19
外国人士官	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	-	3
水先案内人海員合計	75	75	75	75	76	76	77	148	140	141	141	151
浚渫船:												
船員	50	50	50	50	55	55	65	61	61	67	33	74
士官	31	31	31	31	32	32	34	39	35	31	17	17
浚渫船海員合計	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71
雑役船員合計	219	219	219	216	256	274	411	322	322	344	601	643
<国家所属船舶>												
学術調査船:												
船員	16	16	16	16	16	16	16	13	17	20	20	20
士官	10	10	10	10	10	10	9	11	11	10	10	10
学術調査船海員合計	26	26	26	26	26	26	25	24	28	30	30	30
練習船:												
船員	23	23	23	23	27	27	20	19	13	33	26	15
士官	9	9	9	9	9	9	10	11	11	11	11	11
学校関係船海員合計	32	32	32	32	36	36	30	30	24	44	37	26
海洋救命艇:												
船員	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	11
士官	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	13
海洋救命艇海員合計	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	24
国家所有船舶の海員合計	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	131
外国船舶海員	40	43	43	163	349	130	1310	671	651	376	554	211
乗船海員総計	2743	2867	2677	7201	5151	5711	5451	6111	7121	7353	5773	1447

モロッコ海運商船士官実務訓練強化プロジェクト・ケエスチョネア

1.

- (1) 海上輸送における国家政策は何に規定されているか、いつ策定されたか
- (2) モロッコ商船隊の内、チャーター以外の自国船数、船腹量（総トン）
- (3) 船員給与のレベル（他の陸上職等との比較）

2.

- (2) 過去5年間の貿易量、積取り比率
- (3) 沿岸航路船（内航船）の規模
- (4) 主要港湾施設の規模、能力

3.

- (1) 商船海運局全体の組織、業務（業務分掌）
- (3) 外国船に乗船しているモロッコ人船員数、職種（職員、部員）
- (4) 再質問
- (5) 再質問
- (6) 海技試験を管轄している政府機関はどこか
当該機関と船舶センターの関係、試験官の資格・所属
海技試験問題例（航海、機関の各資格毎、1回分）
資格証明の要件として身体検査を実施しているか
- (7) 再質問
- (8) 再質問

4.

- (1) 一般教育機関の生徒数
- (2) 船員教育機関各校ごとのデータ
- (3) STCW条約に加盟する方針の有無、その理由、そのための方策

5.

- (2) ISEMの自治運営とはなにか
- (3) 運営予算と投資予算の違い、予算要求・執行の手続きに差があるか
- (5) 再質問（訓練用機器とその稼働状況に限る）
- (6) 各コース、各学年毎のカリキュラム（時間数を含む）
- (7) 入学者数、就職状況
海軍への就職状況
- (10) 乗船訓練は海軍艦船のみで実施しているのか、訓練の内容
- (11) 留学生の受入国名、人数
- (15) フランスとの技術協力の概要（目的、規模、期間、協力機関、内容、終了の理由）
- (16) ISPM海洋科学研究所の概要、ISEMとの協力・利害関係

6.

- (3) 本プロジェクトの具体的目標として訓練コースの改善・新設の計画の有無、その概要
- (4) 施設等の増改築計画の現在の有無
- (7) 再質問
- (9) 再質問
- (10) 機器シミュレータは具体的にどの機器か
- (11) メンテナンスに係る予算執行状況
レーダシミュレータのメンテナンス状況

QUESTIONNAIRE SUPPLEMENTAIRE
SUR
LE PROJET DE RENFORCEMENT DE LA FORMATION PRATIQUE
DES CADRES NAVIGANTS DE LA MARINE MARCHANDE

1. SITUATION DU PROJET DANS LE PLAN DU DEVELOPPEMENT NATIONAL

- (1) Dans quel cadre de la politique nationale et quand est-ce qu'est stipulé le domaine des transports maritimes ?
- (2) Dans la flotte marchande marocaine, nombre et tonnage de navires, excepté les navires affrétés ?
- (3) Niveau des salaires des marins par rapport à celui du personnel terrestre etc ?

2. LA SITUATION ACTUEL DU TRANSPORT MARITIME AU MAROC

- (2) Volume du commerce extérieur et pourcentage de tonnage transporté, pour les cinq dernières années ?
- (3) Tonnage des navires caboteurs ?
- (4) Etendue et capacité des principaux ports marocains ?

3. STATUT ACTUEL DU MARIN MAROCAIN

- (1) Organigramme de l'ensemble de la Direction de la Marine Marchande et la répartition des services de ladite Direction ?
- (3) Nombre de marins marocains à bord des navires étrangers et leurs catégories professionnelles (Officiers et personnel d'exécution) ?
- (4) Aperçu du système des brevets d'officier de la marine (Catégorie de brevet , navire applicable par brevet et zone de mer) ?
- (5) Le Maroc reconnaît les brevets étrangers d'officier ou non ?
- (6) Organisme gouvernemental chargé des brevets d'officier ?
Rapport entre cet organisme et les différents centres de formation ?
Qualification et appartenance des examinateurs ?
Exemple des sujets d'examen (un exemple par brevet et par section Pont et Machine) ?
La visite médicale est obligatoire pour la délivrance des brevets ?
- (7) Qualification pour être candidat au concours de brevets d'officier, nombre de candidats audit concours et nombre de reçus pour les cinq dernières années ?
- (8) Détail de la politique des marins et leur futur programme . (Si il y en a)
(Si il y a du besoin et de la politique pour l'augmentation de marins incluant les officiers) ?

4. SYTEM DE FORMATION GENERAL ET MARITIME

- (1) Nombre d'étudiants dans les établissements d'enseignement généraux ?
- (2) Donnees par établissement d'enseignement maritime ?
- (3) S'il y a de la politique pour l'adhérence à la traité " STCW " ,raison d'adhérence et des mesures pour l'adhérence ?

5. SITUATION ACTUELLE DE L'ISEM

- (2) Signification du service géré de manière autonome de l'ISEM ?
- (3) Différence entre le budget de fonctionnement et celui d'investissement ?
Différence pour les formalités de demande et d'exécution du budget ?
- (5) Principaux matériels didactiques et leur état de fonctionnement ?
- (6) Programme de cours pour chaque section et par année scolaire (y compris le nombre d'heures de cours) ?
- (7) Nombre d'inscrits et état d'emploi ?
Etat d'emploi à l'armée de mer ?
- (10) La formation d'embarquement est-elle ptariquée seulement à bord des navires des Arme-
ments marocains et le contenu de la formation ?
- (11) Noms des pays qui reçoivent des étudiants étrangers (marocains) et nombre d'étudiants ?
- (15) Contenu de la coopération technique avec la France (But, Etendue, Période, organisme de
coopération, contenu et raison de fin de la coopération) ?
- (16) Aperçu de l'Institut Scientifique des Pêches Maritimes (I.S.E.P) ?
Collaboration avec l'I.S.E.M et intérêts ?

6. BUT ET PLAN DU PROJET

- (3) Si le plan pour l'amélioration et la nouvelle création de cours de formation existe ou
non dans le but concret du présent projet et leur aperçu ?
- (4) Si le plan d'agrandissement et de reconstruction de l'établissement etc existe
actuellement ou non ?
- (7) Plan financier marocain ,calcul approximatif du budget ordinaire et prévision de son
acquisition pour la mise en pratique du projet. ?
- (9) Nombre de stagiaires au Japon et contenu du stage ?
- (10) Explication concrète pour le simulateur machine ?
- (11) Etat d'exécution du budget pour l'entretien ?
Etat d'entretien du sumulateur Radar ?

ROYAUME DU MAROC
MINISTRE DES PECHES
MARITIMES ET DE LA
MARINE MARCHANDE

RABAT, LE 19 JANVIER 1995

المملكة المغربية
وزارة الصيد البحري
والملاحة التجارية

PROJET DE RENFORCEMENT DE LA FORMATION A
L'INSTITUT SUPERIEUR DES ETUDES MARITIMES
REPONSE AUX QUESTIONS SUPPLEMENTAIRES

I. SITUATION DU PROJET DANS LE PLAN DU DEVELOPPEMENT
NATIONAL

1. Politique nationale :

- Préserver les acquis dans le domaine des transports maritimes et maintenir le niveau de participation à 22 % du tonnage transporté ;

- Remplacement des navires vétustes ou non adaptés ; acquisition de 15 à 20 unités .

2. Flotte marchande marocaine :

Nombre de navires : 46 navires

Tonnage : 273.344 TPL

3. Niveau des salaires des marins par rapport au personnel terrestre : Bon salaire par rapport au personnel terrestre de formation équivalente .

II. SITUATION ACTUEL DU TRANSPORT MARITIME

2. volume du tonnage échangé par voie maritime: 35 à 40 millions de tonnes ;

3. Tonnage des navires caboteurs : 4 navires avec un tonnage de 22.738 TPL ;

4. Etendue et capacité des ports marocains :

Principaux ports de Marine Marchande

- Méditerranée : Nador, Tanger ;
- Atlantique : Kenitra, Casablanca, Jorf Lasfar, Safi, Agadir .

III. STATUT ACTUEL DU MARIN

1. Organigramme de la Direction de la Marine Marchande
(Voir annexe 1) ;

3. Nombre de marins à bord des navires étrangers : une quarantaine ;

4. Système des brevets d'officier de la Marine: (Voir annexe 2) ;

5. Le Maroc reconnaît les brevets d'officiers étrangers en conformité avec la STCW 78 ;

6. Organisme chargé des brevets : Direction des Relations Internationales, de la Formation et des Affaires Juridiques (Ministère des Pêches Maritimes et de la Marine Marchande) .

- Les établissements de formation maritime relèvent de cette Direction et sont placés sous son aire de compétence ;

- Examineurs : Professeurs de l'enseignement maritime, anciens officiers navigants. Ils appartiennent à l'Institut Supérieur des Etudes Maritimes .

Il est également fait appel à des enseignants expérimentés qui travaillent dans des Compagnies privées .

- Exemple de sujet d'examen (voir annexe 3) ;

- Visite médicale : Elle est effectuée dès l'entrée de l'étudiant à l'Institut Supérieur des Etudes Maritimes .

7. Niveau des candidats au concours à l'I.S.E.M : Baccalauréat scientifique pour la branche pont et Baccalauréat technique pour la branche machines marines.

Nombre de candidats au concours durant les 5 dernières années :

Candidat au concours	Nombres de reçu	
1990-1991	3.724	40
1991-1992	1.891	52
1992-1993	2.349	40
1993-1994	1.407	40
1994-1995	775	40

8. Politique des marins et leur futur programme

IV : SYSTEME DE FORMATION GENERALE ET MARITIME

1.

2. Institut Supérieur des Etudes Maritimes	182
Instituts de Technologie des Pêches Maritimes.....	233
Centres de Qualification Professionnelle Maritimes..	401

TOTAL 816

3. Le Maroc a adhéré à la STCW 1978 .

La Convention est en cours de ratification .

D'ores et déjà , la formation à l'I.S.E.M est conforme à cette Convention .

Y. SITUATION ACTUELLE DE L'I.S.E.M :

2. Service géré de manière autonome :

L'I.S.E.M possède une autonomie budgétaire qui lui permet une gestion souple de l'établissement sur le plan financier . Son budget n'est pas géré au Ministère .

3. Différence entre budget de fonctionnement et budget d'investissement :

- Budget de fonctionnement : sert à la couverture des dépenses autres que celle relatives aux équipements . Exemple : Petit Matériel de bureau, lubrifiant, eau, électricité, denrées alimentaires pour l'internat etc ;

- Budget d'investissement : Sert à la couverture des dépenses relatives aux équipements didactiques , de matériels et de travaux ;

5. Matériel didactique : (Voir annexe 4) ;

6. Programme de cours : (Voir annexe 5) ;

7. Nombre d'inscrits à l'I.S.E.M : 182 dont 17 étrangers ;

10. La formation est actuellement pratiquée à bord des navires de commerce ;

11. Norms des pays qui recoivent des étudiants marocains : France- Belgique ;

15. Contenu de la coopération technique avec la France : stage pratique pour élèves de l'I.S.E.M et pour les formateurs ainsi que des consultations d'experts .

Organismes français : Ecoles de la Marine Marchande - Ministère chargé des Transports Maritimes ;

16. L'I.S.E.M est un organisme chargé de la recherche scientifique appliquée à la pêche maritime dont les travaux sont orientés vers la connaissance et le suivi des ressources halieutiques, la surveillance de l'environnement marin, des techniques de pêche, l'Aquaculture et l'Océanographie.

L'I.S.E.M collabore pour assurer des cours et des conférences sur l'océanographie et autres thèmes d'intérêt pour les étudiants de l'I.S.E.M.

VI . BUT ET PLAN DU PROJET :

3. Création de nouvelles filières : à étudier davantage avec les professionnels en vue de répondre à leurs besoins exacts ;

4. Il n'est pas prévu de projet de reconstruction ou d'extension de l'I.S.E.M ;

7. Plan financier et calcul du budget :

Budget ordinaire de l'I.S.E.M

1994 : Budget de fonctionnement : 6.680.000 DHS

Budget d'investissement : 13.326.000 DHS

Le Budget d'appui au projet sera prévu et discuté avec le Ministère des Finances en prévision du projet ;

9. Nombre de stagiaires au Japon : (à définir)

10. Explications pour le simulateur-machines :

Le simulateur machine permettrait :

- de poursuivre la formation des cadres navigants en conformité avec la Convention STCW de 1978 sur la formation des gens de mer et la délivrance des brevets ;

- d'organiser des stages de formation et de recyclage au profit du personnel navigant ;

- de prévoir des stages pour les ressortissants des pays voisins et amis, conformément à la vocation de l'I.S.E.M en tant que branche régionale de l'Université Maritime Mondiale (UMM) depuis 1988 .

11. Budget d'entretien :

Chaque atelier ou laboratoire est confié à un professeur qui assure la gestion du matériel, veille à son entretien, identifie les besoins et en réfère au chef des travaux .

Les travaux d'entretien sont financés sur le budget de l'I.S.E.M.

Le simulateur RADAR est en état de fonctionnement et est utilisé régulièrement . Aucun organisme n'assure à ce jour le maintien de cette installation . En cas de problème, la Direction de l'I.S.E.M fait appel à la Société " Général Electronic Service " (G.E.S), représentant la maison FURUNO sur place .

ラバト 1995年1月19日

モロッコ王国

海運・漁業省

高等海運学院訓練強化プロジェクト
追加質問事項への回答

I. 国家開発計画の中におけるプロジェクトの位置付け

1. 国家政策

- 海上輸送分野における権益の擁護と積取比率2.2%の維持。
- 老朽化した船舶またはニーズに合わない船舶の入替：
15～20隻購入。

2. モロッコ商船隊

船舶数 : 46隻
トン数 : 273,344 TPL

3. 陸上職員と比べた船員給料のレベル

同じレベルの訓練を受けた陸上職員に比べて良い。

II. 海運の現状

2. 海上貿易量 : 3,500万トン ~ 4,000万トン

3. 沿岸航路船の規模 : 4隻 22,738 TPL

4. モロッコ港湾の規模と能力 :

主要港湾 :

- 地中海側 : ナドール、タンジェ
- 大西洋側 : ケントラ、カサブランカ、
ジョルフ・ラスファール、サフィ、
アガデイール

III. 船員の現行ステータス

1. 海運局の組織図 (アネックス1参照)
 3. 外国船籍に乗船している船員数 : 約40人
 4. 海技資格制度 (アネックス2参照)
 5. モロッコは1978年のSTCW条約にミートした外国の海技資格を認めている。
 6. 海技資格を担当している機関 : 海運・漁業省の国際関係・教育・法務局
 - 船員訓練学校は当局の所管であり、その敷地は当局の管轄地である。
 - 試験官 : 船員学校の教官、元商船士官。高等海運士官学校 (ISEM) 所属。また、民間会社に勤務している熟練教員にも声をかけている。
 - 試験問題例 (アネックス3参照)
 - 身体検査 : 高等海運学院の学生となった直後に行なわれる。
 7. ISEMへの入学試験志願者のレベル :
 - 甲板学科 : 理科系大学入学資格
 - 機関学科 : 技術系大学入学資格
- 過去5年間の入学試験志願者数 :

	入学試験受験者数	合格者数
1990 - 1991	3,724	40
1991 - 1992	1,891	52
1992 - 1993	2,349	40
1993 - 1994	1,407	40
1994 - 1995	775	40

8. 船員政策とその将来計画

IV. 一般的教育と船員教育制度

1.		
2.	高等海運学院	182
	漁業技術学院 (複数)	233
	船員職業資格センター (複数)	401
	合計	816

3. モロッコは1978年のSTCW条約に加盟した。

条約は現在批准中である。

既に、訓練は本条約にミートしている。

V. ISEMの現状 :

2. 自治運営とは :

ISEMは予算の独立採算性を採っており財政面で学校の柔軟な管理が出来る。
学校の予算は本省に管理されていない。

3. 運営予算と投資予算の違い :

- 運営予算 : 機材に関係する予算を除く支出をカバーする。
例 : 小事務用機器、潤滑油、水、電気、寄宿性の食料他
- 投資予算 : 教育機器、機材と工事に関する支出をカバーする。

5. 訓練用機器 : (アネックス4参照)

6. コースのカリキュラム

7. ISEMの入学者数 : 187人 (外国人17)

10. 現在、訓練は商船上で行なわれている。

11. モロッコ人留学生を受入れている国名 : フランスとベルギー

15. フランスとの技術協力の内容 :

ISEM生徒と教員の実務研修ならびに専門家によるコンサルタント。
フランスの機関 : 運輸担当省の海運学校 (複数)。

16. ISEMは海洋漁業に応用する学術研究担当機関である。その研究は漁業資源の知識・追跡調査、海洋環境の監視、漁業技術、水産養殖と海洋学に向けられている。

ISEMは、海洋学に関する講義と会議、その他ISEMの学生の関心テーマを確保するために協力している。

VI. プロジェクトの目標と計画

3. コースの新設 : 現在のニーズに応える為に専門家と共に一層検討すべき課題。

4. ISEMの増改築の計画は無し。

7. 財政計画と予算の算出：

I S E Mの経常予算

1994年 ： 運営予算 ： 6,680,000 デイルハム
 投資予算 ： 13,326,000 デイルハム

プロジェクトへの支援予算は予定され、プロジェクトを見越して、財務省と協議する予定である。

9. 日本での研修員の数 ： (決定すべき)

10. 機器シュミレーターの説明 ：

機器シュミレーターによって次のことが出来る ：

- 海員訓練と海技免状発行に関する1978年のSTCW条約にミートした商船士官訓練を継続する。
- 乗組員向け訓練・再教育研修を行なう。
- 1988年以降世界海事大学の地方分校の資格として、I S E Mの使命に応じて、近隣国と友好国の学生のための研修を予定している。

11. 保守に係る予算：

各ワーク・ショップ又は研究室は機材管理を行なう教官に任されている。教官は保守に気を配り、必要性を確認し、それを教務課長の判断を仰ぐ。

保守作業費用は、I S E Mの予算から賄われている。

レーダー・シュミレーターは稼動中で、定期的に、使用されている。今日までのところ、いかなる機関も、この設備のメンテナンスを行っていない。問題が発生した場合、I S E Mの本部は、現地で、フルノ社の代理店の総合電気サービス社 (S. G. S) に依頼している。

⑤ 学院創設以来の卒業生数

高専海運学院創設以来の卒業生数

(1977 ~ 1994)

年 度	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82	82/83	83/84	84/85	85/86	86/87	87/88	88/89	89/90	90/91	91/92	92/93	93/94	
長期課程	遠洋航路船長	-	-	11	-	-	-	21	-	23	-	-	-	23	-	27	14	
	一等機関士	-	-	-	-	-	-	-	19	-	11	-	14	-	19	-	26	
	遠洋航路航海士	-	11	18	19	24	20	29	26	28	23	-	15	20	19	19	16	
普通課程	一等機関航海士	-	-	-	-	22	26	32	26	25	15	-	10	18	15	14	13	
	二等船長	23	-	17	09	14	18	-	16	-	25	-	09	-	18	-	12	
	無線通信技師	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	
	L. P. I I	09	19	13	22	16	23	-	01	07	26	-	26	24	22	28	29	
	二等機関士	-	16	-	21	-	13	02	15	01	17	-	-	01	16	-	11	
	二等機関航海士	11	24	24	10	15	21	03	-	02	14	20	-	18	23	25	33	26
	通信航海士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	18	-	11	-	-	-	-
	三等船長	03	-	12	02	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	C. Q.	-	24	04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三等機関航海士	05	13	23	03	24	01	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	M. C. Q.	18	30	-	13	15	26	21	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	沖台漁業船長	07	02	03	04	04	09	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	C.Q.P.L	19	26	-	05	11	25	14	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	95	165	125	108	157	137	131	164	91	125	138	14	104	124	118	132	150	

⑥ 学院の日課表

時間	月曜日～火曜日	土曜日	日曜日
06:30	起床	起床	
06:30 - 07:00	運動	運動	
07:00	朝食	朝食	起床
07:30			朝食
07:45	国旗敬礼のための集合	国旗敬礼のための集合	
08:00	授業開始	授業開始	
12:00	昼食	昼食	昼食
13:45	集合	外出	外出
14:00	授業開始		
19:00	夕食 学習		夕食
22:00	消灯		消灯
00:30		消灯	

⑦ 練習船「アル・モヒット」主要目

練習船 “ EL MOHITT 号 ”に関する技術資料

総トン数	:	229.29容積トン
純トン数	:	52.94容積トン
全 長	:	32.00メートル
幅	:	8.00メートル
キール上の深み	:	4.00メートル
空船時排水量	:	233.00トン
載貨重量	:	78.00トン
空船時きつ水	:	2.80メートル
最大きつ水	:	3.25メートル
機関	:	
	-	400馬力のメイン・エンジン 2基 = 合計 800馬力
	-	60馬力の補助エンジン 2基 = 合計 120馬力
スクリュー	:	可変ピッチ
建造月日	:	1969年6月17日
造船場所	:	L O R I E N T
乗客座席数	:	20席
座席総数	:	30席

Rabat le,

DRIFAJ/DAJ
HM/mn

REVISION DES STRUCTURES DE LA DIRECTION DE LA MARINE MARCHANDE

Note de présentation

Le projet de restructuration du Ministère des Pêches Maritimes et de la Marine Marchande propose pour ce qui concerne la Direction de la Marine Marchande, un réajustement de structure dicté par la nécessité de tenir compte de l'évolution récente des obligations de l'Administration maritime dans les domaines particuliers suivants :

1. Prévention et lutte contre la pollution marine provoquée par les navires ;
2. Recherche et sauvetage des vies humaines en mer ;
3. Encadrement renforcé des gens de mer afin de permettre une meilleure mise en oeuvre des normes internationales dans le domaine du travail maritime ;
4. Organisation et suivi de la navigation de plaisance et autres sports nautiques littoraux.
5. Coordination de l'utilisation du matériel nautique appartenant à l'Administration maritime dans le cadre de ses activités de recherche scientifique, de recherche et sauvetage en mer, de formation, de sécurité de la navigation et de gestion technique du personnel embarqué sur les unités acquises.

Ces domaines d'intervention de l'Administration maritime se sont traduits par une réorganisation des structures administratives devant en assumer la charge.

C'est ainsi que la Division de la navigation et des gens de mer a été scindée en deux divisions distinctes, mieux à même, chacune, de se consacrer aux tâches particulières qui lui incombent, compte tenu de l'importance de l'activité concernée.

Cette séparation permettra à la nouvelle Division des gens de mer d'apporter un meilleur encadrement au travail maritime, notamment avec la création d'un Service de l'inspection du travail maritime, inexistant jusqu'alors.

Quant à la Division de la sécurité maritime, elle conserve les deux services préexistants, spécialisés dans les domaines de la sécurité et de la prévention de la pollution, et se trouve renforcée par un service des contrôles techniques des navires, appelé à mieux assurer l'application des normes en vigueur et un Service de la navigation de plaisance.

Ce dernier service dont la création est proposée aura pour tâche, de contrôler non seulement les unités utilisées exclusivement à des fins récréatives, environ 2000 actuellement recensées, mais également les engins utilisant des modes de propulsion mécanique tels les scooters de mer, particulièrement dangereux pour la sécurité des baigneurs, et dont la réglementation de l'usage reste à faire.

Le projet prévoit également la création d'une Division du suivi technique de la flotte de l'Administration maritime destinée d'une part à faciliter la gestion du personnel de la Direction et d'autre part à assurer une utilisation rationnelle du matériel de contrôle et de sécurité de la navigation ainsi qu'un suivi de la flotte appartenant à l'Administration maritime dont elle assurera également la maintenance par ses inspections techniques périodiques.

Concernant le personnel de la Direction de la Marine Marchande, du fait de la domiciliation de cette structure hors de Rabat, siège de l'Administration Centrale, un Service des Affaires Générales devra assurer la liaison quotidienne avec les services de la Direction des Affaires Générales et des Ressources Humaines et la Direction de la Formation Maritime et de la Promotion Socio-Professionnelle, afin d'encadrer ses personnels qui comprend également les techniciens des centres de sécurité affectés dans les délégations régionales, et de suivre leur carrière.

Concernant l'utilisation et la maintenance des matériels nautiques, de sécurité et de sauvetage, y compris les navires, il s'est avéré nécessaire, compte tenu des acquisitions effectuées dans ce domaine par le Ministère, au cours des dernières années, et des équipements dont l'achat a été planifié, de créer au sein de cette nouvelle Division deux services spécialisés qui seront mieux à même de permettre une réelle coordination de l'utilisation de ces matériels.

En effet l'Administration maritime dispose :

- Pour la recherche scientifique de deux navires hauturiers, CHARIF EL IDRISSE et IBN SINA, propriété de l'Office National des Pêches, d'une valeur de 50 millions de dirhams auquel devrait s'ajouter deux autres unités côtières de recherche, pour une valeur de 36 millions de dirhams ;
- Pour la formation, de trois navires écoles (AR RACHID I, AR RACHID II, AR RACHID III), au service des Instituts de technologie des Pêches Maritimes d'Agadir et Tan-Tan, d'une valeur globale de 60 millions de dirhams bientôt complétés par l'arrivée en Décembre 1994 du navire AL HASSANI d'une valeur estimée de 110 millions de dirhams et de deux autres unités en 1995, pour une valeur estimée de 80 millions de dirhams;
- Pour la recherche et le sauvetage des vies humaines en mer, de 4 vedettes d'une valeur de 60 millions de dirhams, complétées en 1995 par l'acquisition de 4 autres unités pour une valeur estimée de 45 millions de dirhams ;
- Pour la sécurité de la navigation des équipements des centres de sécurité et de la tour de contrôle de la navigation de Tanger.

Toutes ces unités appartiennent à des entités administratives disposant des moyens matériels et humains pour en assurer un fonctionnement quotidien, toutefois au point de vue technique et de sécurité, aucune de celles-ci n'est en mesure d'en maintenir le niveau requis par les normes internationales.

En raison des implications de ce suivi technique sur la sécurité des personnels embarqués y compris les élèves, scientifiques et autres personnels de l'Administration maritime, et sur l'utilisation rationnelle de cette même flotte, au service de différents utilisateurs, il a été jugé opportun de créer à cet effet les structures nécessaires.

La nouvelle organisation proposée pour la Direction de la Marine Marchande est la suivante :

- Division de la navigation maritime
 - * Service sécurité de la navigation
 - * Service de prévention et de lutte contre la pollution
 - * Service des contrôles techniques des navires
 - * Service de la navigation de plaisance

- Division de la flotte
 - * Service de l'armement
 - * Service de l'immatriculation des navires
- Division du Transport maritime
 - * Service des études et des investissements
 - * Service des frets et affrètements
 - * Service de l'organisation et coordination des transports maritimes et des activités annexes.
- Division des Gens de Mer
 - * Service de l'inspection du travail maritime
 - * Service de la promotion sociale
- Division du suivi technique de la flotte de l'Administration maritime.
 - * Service des affaires générales
 - * Service d'exploitation et d'embarquement
 - * Service technique
 - * Service de conservation des hypothèques maritimes

Les réajustements proposés, par le projet sont indiqués ci-dessus par des caractères gras.

La nouvelle structure comprend 5 divisions et 15 services. Toutefois par rapport au projet d'Août 1993 qui comptait 4 Divisions et 14 Services, la nouvelle organisation, n'a abouti qu'à l'adjonction d'une seule Division, le service supplémentaire représenté par la conservation des hypothèques maritimes étant un service précédemment domicilié au Secrétariat Général.

海 運 局 組 織 改 編

提 案 文 書

漁業・海運省の再編成案は海運局に関するもので、次の特殊分野における海運行政の責務の最近の変遷により組織の再編を提案している。

1. 船舶が発する海上汚染予防及び防除。
2. 海中の人命の研究と救助。
3. 船員職分野における国際規格のより良い実行が出来る為に強化された環境。
4. 遊覧航海とその他沿岸水上スポーツの組織とフォローアップ。
5. 海運局所属の航海機材の調整と使用。これらの活動範疇は、科学研究、研究、海中救助、航海訓練と安全、必要な機材に乗船した人員の技術的管理。

この海運行政の担当分野は、これらの責務を果たすことになる行政組織の再編成によって行なわれる。

従って、航海・海員部は、違った2つの部に分割され、関係する業務の重要性に鑑み、より直接に、各々が、夫々の職責の職務を行う。

この分割により、新しい船員部は、船員に、より良い環境をもたらすことが出来る。特に、現在まで存在していなかった船員労働監督課の創設があげられる。

海上保安部については、海上保安と海上汚染予防分野専門の既存の2つの課が残り、現行規定の適用と遊覧航海課をより一層確かなものにする使命を負った船舶技術管理課によって補強される。

創設が提案されているこの遊覧航海課の職務は、現在、約2,000を数える専らレクリエーションに使用される船舶のみならず、特に海水浴客の安全にとって危険な水上スクーターの様な力学推進法を使用する機械の検査となるが、この水上スクーターの使用規則は懸案となっている。

本案では、また、海運局の船団技術フォローアップ部の創設も予定している。このフォローアップ部は、海運局の人事管理の簡素化と航海管理・安全機器の合理的な使用並びに海運局所属の船団のフォローアップを行ない、定期的な技術検査によるメンテナンスも行なう。

海運局の人事に関し、本省はラバトにあるが、海運局はラバトの外に位置しているので、総務課が総務・人材局と船員訓練・社会職業促進局との日常的連絡業務を行うことになっている。これは、地方代表部に配置された訓練センターの技術者を含む職員を監督及び彼等の職歴をフローする為のものである。

船舶を含む海上保安・救助機器の使用とメンテナンスに関し、ここ数年に本省がこの分野にて行なった購入と購入が計画された機器を考慮すると、この新しい部に2つの専門課の創設が必要であることが分かった。これらの専門課は、これら機器の使用の真のコーディネーションが出来る。

実際に、海運局は次の物を自由に使用できる：

- 科学研究用として、漁業公社所有の遠洋航路船2隻、シャリフ・エル・イドリッシ号とIBNシナ号 船舶代金 5千万ディルハムと沿岸研究船2隻、船舶代金 3.6千万ディルハム。
- 訓練用として、練習船 3隻 (AR RACHID I号、AR RACHID II号、AR RACHID III号)。アガディールとタンタンの漁業技術学院向け。船舶代金総額6千万ディルハム。1994年12月に11千万ディルハムの船舶 AL HASSANI号入手と1995年船舶代金総額4.5千万ディルハム2隻。

一 航海安全用として、安全センターの機器とタンジェ航行管理タワー。

これら全ての船舶は、行政機関に所属しており、日常の運用を確保するために機械的・人的手段を使用している。但し、技術的安全面の観点では、これらいかなる船舶も国際規格が要求しているレベルを維持することが出来ない。

訓練生を含む乗組員、研究職員とその他海運局職員の安全と、様々な利用者のサービスのための海運局船団の合理的使用に關し、この技術的フォローアップを導入するために、この観点から、必要な組織を創設するには時宜かっていると判断された。

海運局によって提案された新しい組織は次の通り：

- 一 航海部：
 - ・ 航海安全課
 - ・ 汚染予防・対策課
 - ・ 船舶技術管理課
 - ・ 遊覧航海課
- 一 船団部：
 - ・ 艦装課
 - ・ 船舶登録課
- 一 海上輸送部：
 - ・ 調査・投資課
 - ・ 貨物・傭船課
 - ・ 海上輸送・付帯業務計画調整課
- 一 船員部：
 - ・ 船員業務監督課
 - ・ 社会福祉推進課
- 一 海運局船団技術フォローアップ部：
 - ・ 総務課
 - ・ 運営・船員登録課
 - ・ 技術課
 - ・ 海事抵当権保全課

新しい組織は5部と15課が含まれる。4部と14課が入っていた1993年の案と比較して、新しい組織は、1部しか増えていない。追加された海事抵当権保全課は、前回の提案では事務局に組み込まれていた。

⑨ 輸送分野の雇用人員数（原文及び和訳）

EFFECTIFS EMPLOYES DANS LE SECTEUR
DES TRANSPORTS

TRANSPORT EN GENERAL

- Effectif global employé dans le transport national public.....	28.015 Personnes
- Effectif employé dans le secteur national privé.....	non disponible

TRANSPORT MARITIME

- Personnel embarqué :.....	3.806
* Secteur public.....	650
* Secteur privé.....	3.156
- Personnel employé à terre.....	
* Secteur public.....	700
* Secteur privé.....	4.990

輸送分野での雇用人員数

一般輸送

一 国内公共輸送に雇用されている人数	28,015名
一 国内個人輸送分野に雇用されている人数	資料なし

海上輸送

一 乗組員	3,806名
・ 公企業	650名
・ 私企業	3,156名

地上雇用職員

・ 公企業	700名
・ 私企業	4,990名

PONDERATION SECTORIALE DU
TRANSPORT NATIONAL

ANNEE 1992

Transport Routier de Marchandises	18,2 %
Transport inter-urbain de voyageurs	14,5 %
Transport urbain de voyageurs	7,1 %
Transport Ferroviaire	8,4 %
Transport Maritime	12,1 %
Transport aérien	20,1 %
Auxilliaires de transport	19,6 %

n.b. : Estimation en valeur

国内輸送の部門別割合

1992年

貨物の道路輸送	18.2%
都市間乗客輸送	14.5%
乗客都市輸送	7.1%
鉄道輸送	8.4%
海上輸送	12.1%
航空輸送	20.1%
補助輸送手段	19.6%

注：金額にて算定

① 最近5年間に購入した港湾雑役船と商船の状況 1989年～1994年

ETAT DES NAVIRES DE SERVITUDE ET DE COMMERCE
ACQUIS DURANT LES 5 DERNIERES ANNEES
1989 A 1994

NOM DU NAVIRE	N° D'IMMATRICULATION	TYPE DE NAVIGATION	JAUGE BRUTE	DATE DE MAROCANISATION
IMOURANE	8-232	PILOTINE	11,18	06-06-1989
TOUBKAL	6-157	NAVIRE DE CHARGE	5661,00	25-07-1989
TARIK	3-367	NAVIRE DE CHARGE	499,21	01-09-1989
AZROU	6-158	ROULIER	7955,00	19-10-1989
OLIVIER	6-161	REMORQUEUR	66,94	22-02-1990
MAMORA	6-160	VRAQUIER	926,00	15-03-1990
AGLAL	6-162	ROULIER	999,90	16-03-1990
ASILAH	5-118	VELETTE DE SERVITUDE	18,07	24-09-1990
EL BARAKA	6-163	REMORQUEUR	121,00	18-02-1991
ECHARIF	6-164	REMORQUEUR	121,00	03-05-1991
ANSOURIA-2	6-132	PILOTINE	11,53	30-05-1991
EL BAHRI	6-165	MULTI-PURPOSE	486,97	19-06-1991
EL MARZOUK	6-166	REMORQUEUR	94,33	23-10-1991
SAFIR	6-194	PROGROFIQUE	4384,00	26-06-1992
MENES	6-195	ROULIER	1599,29	31-08-1992
AL MASBAHIA	4-180	DESAJUE	676,00	09-02-1993
MIN BATOUTA-2	3-432	CAR-PE	9487,00	30-04-1993
FES	6-156	ROULIER	1126,59	29-07-1993
AL WAHDA	6-481	PETROLIER	4176,00	06-01-1994
ASSALAMA	6/1-138	REMORQUEUR	474,00	07-07-1994
NAJIB-18	6-850	VELETTE DE SERVITUDE	12,87	10-08-1994
YACOB	6-853	REMORQUEUR	134,00	12-12-1994

最近5年間に購入した港湾雑役船と商船の状況

1989年～1994年

1/2

船舶名	登録番号	船種	総トン数	モロッコ船籍化 年月日
IMOURANE	8-232	水先案内船	11.18	06/06/1989
TOUBKAL	6-157	貨物船	5,661.00	25/07/1989
TARIK	3-367	貨物船	499.21	01/09/1989
AZROU	6-158	ロール・オフ船	7,955.00	19/10/1989
OLIVIER	6-161	タグ・ボート	66.94	22/02/1990
MAMORA	6-160	ばら積み貨物船	926.00	15/03/1990
AGDAL	6-162	ロール・オフ船	999.90	16/03/1990
ASILAH	5-118	港湾雑役小艇	18.07	24/09/1990
EL-BARAKA	6-163	タグ・ボート	121.00	18/02/1991
ECHARIF	6-164	タグ・ボート	121.00	03/05/1991
ANSOURIA-2	6-132	水先案内船	11.53	30/05/1991
EL BAHRI	6-165	多目的船	486.97	19/06/1991
EL-MARZOUK	6-166	タグ・ボート	94.33	23/10/1991
SAFIR	6-194	冷凍船	4,364.00	26/06/1992
MEKNES	6-195	ロール・オフ船	1,599.29	31/08/1992
AL MASBAHIA	4-180	浚渫船	676.00	09/02/1993
BN BATOUTA-2	3-432	カーフェリー	9,487.00	30/04/1993
FES	6-156	ロール・オフ船	1,126.59	29/07/1993
AL WAHDA	6-481	タンカー	4,176.00	06/01/1994

船舶名	登録番号	船種	総トン数	モロッコ船籍化 年月日
ASSALAMA	6/1-138	タグ・ボート	474.00	07/07/1994
NAJIB-18	6-850	港湾雑役小艇	12.87	10/08/1994
YACOUB	6-853	タグ・ボート	134.00	12/12/1994